

施策に対する事業一覧(案)

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
“健幸都市 ウェルネス シティ”宇陀市の 実現	1-1-1 健康づくり活動 の支援	(1) 健康総合対策事業(運動教室)	211020	ウェルネスシティ推進事業の一環として、継続して運動教室に参加することによって生活習慣病予防、筋力アップの効果を高める。	運動教室・アクアグリーン水中運動教室の助成を実施(保険年金課)	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課・健康増進課	1-1-1(2)
		(2) 健康総合対策事業(運動教室)	211020	ウェルネスシティ推進事業の一環として、継続して運動教室に参加することによって生活習慣病予防、筋力アップの効果を高める。	生活習慣病予防改善のための運動教室、参加者数、継続者数ともに増加させることができた。(健康増進課)	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課・健康増進課	1-1-1(1)
		(3) 食生活推進員活動支援事業	211040	ウェルネスシティ推進事業の一環として、食生活を中心に市民の健康づくりを推進するボランティアである食生活改善推進員の活動を通じて、市民の健康の保持・増進を図る。	食生活改善を中心とした活動を幅広く展開。ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画の食育の推進員として重要な役割を担い活動している。会員数 114名	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(4) 宇陀市医療講演会事業	211050	医療講演会に加えて、市民に対する医療セミナーについても定期的に開催していく。	H29.10.28実施。「お酒との上手な付き合い方」松島内科部長 参加者120名	A	1.今後も継続して取り組む	市立病院	-
		(5) 糖尿病教室事業	211060	糖尿病教室事業を健康教室事業に変更し、糖尿病だけでなく、骨粗しょう症など、高齢化に向けた予防教室を病院内で展開していく。	年間24回(1シリーズ6回 4シリーズ実施)の教室を、当院の医師、看護師、栄養士、薬剤師等の職員が講師としてあつている。平成29年度は延99名の参加者あり。	A	1.今後も継続して取り組む	市立病院	-
		(6) 健康増進事業	211080	生活習慣病等の疾病予防、早期発見、早期治療を目的に保健事業を総合的に実施する。(肝炎ウイルス・骨粗しょう症・歯周疾患検診・健康教育・健康相談)	生活習慣病等の疾病予防、早期発見、早期治療を目的に保健事業を総合的に実施する。疾病の知識の普及、健診受診率促進等への行動変容を図るため、がん予防講演会を実施した。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(7) 健康ポイント事業	211090	健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをため、抽選で記念品がもらえる。検診受診やウェルネス事業に参加することを啓発し、そのことで自身の健康増進につなげる。	配布枚数14,000枚 応募総数1,621枚 応募実人数504人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(8) おはようラジオ体操	211100	健康増進から地域の見守り、地域のつながりを強めることを目的として地域の中で継続的にラジオ体操の実施を啓発する。	37か所実施 参加実人数650人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(9) ウェルネスシニア健康学校事業	211110	シニア健康学校を開設し、高齢者に学習の機会、運動の機会を提供し、学ぶことの喜びから生きがいづくり、ともに学ぶことから仲間づくりにつなげる。	高齢者の介護予防の推進、また、介護予防運動を支援する介護リーダーを育成する。参加者 7回121人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(10) ウェルネス運動事業	211120	市全体で同一のプログラム(活動量のデータ化と筋力アップの運動)に参加することで、多くの人の運動習慣化を図る。	けんこうマイメモリー事業を実施し、健康増進及び健康意識の向上を図り、市民が楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことを推進。参加者67人	C	2.取組みを終了した	健康増進課	-
		(11) がん検診事業	213010	市民にがん検診の機会を提供し、疾病の予防を目的として実施する。	検診受診率:大腸がん23.0%・胃15.7%・肺19.6%・子宮27.6%・乳29.3%	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(12) 特定健康診査・特定保健指導事業(特別会計)	213020	健康診査の実施によりメタボリックシンドローム該当者及びその予備軍を早期に発見し、保健指導を行うことで生活習慣病を予防し、将来的な医療費の適正化と抑制を図る。	特定健診・特定保健指導について助成を実施(保険年金課)	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課・健康増進課	1-1-1(13)
		(13) 特定健康診査・特定保健指導事業(特別会計)	213020	健康診査の実施によりメタボリックシンドローム該当者及びその予備軍を早期に発見し、保健指導を行うことで生活習慣病を予防し、将来的な医療費の適正化と抑制を図る。	特定健診受診率は前年度より更に向上しており、28年度31.0% 29年度(30年4月報告分)31.3%。(健康増進課)	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課・健康増進課	1-1-1(12)
		(14) がん検診推進事業	213040	がん検診の受診数を向上させるため、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の5歳刻みの対象者に対し、自己負担無料クーポンを発行し、無料で検診を実施する。	クーポン事業受診率 子宮20.4%・乳21.5%	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
1-1-2 介護予防の推 進	(1) 高齢者介護予防フィットネス事業	231070	老人クラブ等高齢者を対象に、健康寿命を延伸するため、生活習慣病による慢性疾患の予防と筋力維持の重要性を啓発し、日常的な筋力アップ運動の普及を行う。	計画どおり実施(延参加者数5,354人)	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-	
	(2) 介護予防事業(特別会計)	232010	要介護・要支援状態になることを予防し、生活機能全体の維持・向上のために必要な事業を実施する。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-	
	(3) 介護予防支援	232030	介護予防・日常生活支援総合事業における支援が必要な方に自立支援を目指したケアプランを作成する。	H29年度から、要支援の初回プランは地域包括支援センターが担当している。(年間約3,200件請求)自センター及び委託先のケアプランの見直しが必要である。	A	1.今後も継続して取り組む	医療介護あんしんセンター	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
“健康都市 ウェルネス シティ”宇陀市の 実現	1-1-2 介護予防の推 進	(4) いきいき百歳体操	232040	地域の集会所などで地域住民が主体となって5人以上の高齢者等が週1回以上集まって、筋肉トレーニングなどを実施する団体に、体操で使用するテレビやイス等運動に必要な物品購入にかかる費用を補助する。	H28年度より、住民主体による「通いの場」として「いきいき百歳体操」を推進している。H29年度末には、34カ所に広がった。	A	1.今後も継続して取り 組む	医療介護 あんしんセ ンター	-
みんなの幸せ を支える福祉 環境づくり	1-2-1 介護・福祉サー ビスの充実	(1) 介護保険事業(特別会計)	231010	介護保険法の規定に基づく保険給付と保険料賦課・徴収業務。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(2) 介護老人保健施設事業(企業会計)	231020	要介護認定を受けた高齢者が、安心して在宅で暮らせるよう、施設介護と在宅支援サービスを提供する。	入所率は92.5%で前年度より増加したものの目標値(96%)は下回った。在宅復帰率は、年平均43.7%となり目標値(40%)を達成することができた。	A	1.今後も継続して取り 組む	さんとびあ 榛原	-
		(3) 高齢者団体支援事業(シルバー人材センター)	231030	高齢者に就業の機会の提供を行い、社会参加といきいきの充実を図り、高齢者の活力ある地域社会づくりを支援するためシルバー人材センターに対し運営費を補助する。	計画どおり実施 (会員数587人)	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(4) 高齢者団体支援事業(老人クラブ連合会)	231040	老人クラブ活動及び各種事業(健康づくり・介護予防・地域支え合い事業)を通じて健康づくり生きがいづくり支援するため老人クラブ連合会に対し活動費を補助する。	計画どおり実施 (会員数 103クラブ 4,195人)	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(5) 高齢者等サポート隊事業	231050	見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図る。	計画どおり実施 (実施団体 9団体 45自治会)	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(6) 高齢者等見守り支援事業(コールセンター方式)	231060	見守りが必要な高齢者等に対し、緊急・相談通報装置を貸与することにより、24時間体制でコールセンターにつながり、緊急通報や相談ができるシステムを運用する。	計画どおり実施 (設置世帯数79世帯)	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(7) 臨時福祉給付金支給事業	231080	-	計画どおり実施 (支給決定者6,848人)	B	2.取組みを 終了した	介護福祉 課	-
		(8) 機械入浴装置設置事業(企業会計)	231110	-	平成28年度にて事業完了	B	2.取組みを 終了した	さんとびあ 榛原	-
		(9) 地域包括支援センター運営事業	231130	平成27年4月1日に医療介護あんしんセンターを開設し、市直営で地域包括支援センター事業および在宅医療連携支援事業を行い、いつまでも自分らしく住み慣れた地域で暮らせるために在宅医療・介護・福祉・生活等包括的な支援を行う。	市民からの相談900件対応しており、年相談件数が増加している。	A	1.今後も継続して取り 組む	医療介護 あんしんセ ンター	-
		(10) 認知症総合支援事業	231140	認知症の人への医療・介護・地域サポート等の連携支援 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会および認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症相談の実施	平成28年度より「認知症初期集中支援チーム検討委員会」を開催し、認知症ケアを集中的に行うチーム活動を開始した。また、「認知症地域支援推進員」を配置し、地域のキャラバンメイトと協働し、H29年度～「認知症カフェ」を開催している。	A	1.今後も継続して取り 組む	医療介護 あんしんセ ンター	-
		(11) 在宅医療・介護連携推進事業	231150	-	平成28年度より「認知症初期集中支援チーム検討委員会」を開催し、認知症ケアを集中的に行うチーム活動を開始した。また、「認知症地域支援推進員」を配置し、地域のキャラバンメイトと協働し、H29年度～「認知症カフェ」を開催している。	B	2.取組みを 終了した	医療介護 あんしんセ ンター	1-4-2(7)
		(12) お薬手帳発行事業(私のあんしん手帳)	231170	高齢者等の生活支援を必要とする人が、少ない負担で地域のサポートターによる軽微な生活支援を提供する。	H29年度は、上記「地域医療連携会議」で医療と介護の情報共有するICTの導入やおくすり手帳の重要事項などを集約した「私のあんしん手帳」の内容を検討した	A	1.今後も継続して取り 組む	医療介護 あんしんセ ンター	-
		(13) ワンコインライフサポート事業	231180	将来にわたって安定的に事業を継続していくため、中長期的な経営の基本計画を策定する。	計画どおり実施 (延べ派遣者数82回)	A	1.今後も継続して取り 組む	介護福祉 課	-
		(14) あんしん介護見守りGPS事業(特別会計)	231190	高齢者に全医療機関に共通で利用できるお薬手帳を発行し、医療機関受診時に医療関係者に正確に医療情報が把握でき適切な治療につなげるとともに重複服薬の改善につなげる。	H29年度～認知症等により、行方不明になるおそれのある方に対し、「行方不明高齢者等あんしん登録制度」及び「あんしん介護見守りGPS機器貸与事業」を開始し、行方不明になった際のあんしんと日ごろの見守りに活動に役立てている。	A	1.今後も継続して取り 組む	医療介護 あんしんセ ンター	-
		(15) 独居高齢者の実態把握	-	65歳以上の独居高齢者に対し民生委員が「高齢者調査」を実施するとともに、日ごろの見守りや災害時の情報として役立てる。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手 予定	医療介護 あんしんセ ンター	-
(16) 宇陀市行方不明高齢者等あんしん登録制度	-	認知症等の高齢者等が行方不明になった場合に捜索に必要な情報を関係者に提供し、居場所の早期発見を促進させるとともに、平時から高齢者等の安否確認等に役立て、行方不明になることを未然に防止するため、行方不明になるおそれのある高齢者等又はその家族等があらかじめ市に自身又は高齢者等の情報を登録し、関係機関と共有する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手 予定	医療介護 あんしんセ ンター	-		

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
みんなの幸せを支える福祉環境づくり	1-2-1 介護・福祉サービスの充実	(17) 高齢者の権利を守る	-	高齢者虐待や消費者被害などの相談対応。成年後見制度や日常生活自立支援事業、弁護士や警察などと協働で対応する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(18) 認知症初期集中支援チーム	-	認知症専門医の指導の下、認知症に関わる専門職が認知症の人や家族を訪問し、集中的に自立生活のサポートをするチーム活動を実施する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(19) オレンジ(認知症)カフェ	-	認知症の人やその家族が交流し、その精神的負担を軽減するとともに適切な介護の知識・技術を習得できる場。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(20) 認知症サポーター養成講座	-	地域や職域において認知症の人と家族を支える認知症認知症サポーターを養成する。また、講座の企画・立案及び実施を行うキャラバンメイトの活動を支援する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(21) 認知症ケアパス認知症予防とケアのガイドブック	-	認知症の基礎知識と予防方法、利用できるサービス等の情報を集めたガイドブック	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(22) 認知症地域支援・ケア向上事業	-	認知症に関わる医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護の連携強化などによる支援体制の強化と認知症のケアの向上を図る。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(23) 知ってあんしん認知症講座	-	認知症に対する理解者を増やし、認知症の早期支援や認知症になっても安心して暮らせる地域となることを目的に住民主体の通いの場(いきいき百歳体操)に参加している住民に認知症講座として、認知症や認知症予防の体操等を実施し、受講した方が、いきいき百歳体操会場で参加者に伝達する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
		(24) 短期集中型通所サービス	-	3~6か月の短期間に、運動・栄養・口腔等の要素を組み合わせた通所サービスを実施	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	介護福祉課	-
		(25) 施設大規模改修	-	老朽化していく施設の改修	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	さんとびあ榛原	-
	1-2-2 障がい者の生活支援	(1) 障がい者の福祉サービスの推進	241010	障がい者及び障がい児が自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスを給付その他の支援を行い、もって障がい者等の福祉の増進を図ると共に、障害の有無にかかわらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(2) 相談支援センターの充実・強化	241020	市内に居住する障がい者又はその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与すること及び権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(3) 療育教室「こあら教室」事業	241030	発達障がい児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を行う。	計画どおり実施 (入園者35名 クラス数6クラス)	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(4) 精神障害者医療費助成拡充事業	241040	市外の特別支援学校等に通学する児童・生徒に対し、地域の人々との交流や行事等への参加をする機会をつくり、地域住民との交流を通じて障がい児(者)への理解を図る。	計画どおり実施 (受給者数 165人)	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(5) 意志疎通支援事業	241050	手話通訳者の庁内常時設置と手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障害者が意志疎通を図ることを支援する	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(6) 児童発達支援事業	241060	発達障がい児及び保護者が適切な支援を受けるために、専門の支援員が、その問題点の所在を見極め、確実な福祉サービスを受けられるよう障がい児相談支援の充実を図る。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
(7) 福祉タクシー利用券助成事業		241070	重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、タクシー利用料金の一部を助成する。	計画どおり実施 (発行数 41人)	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-	
(8) 地域活動支援センターの充実・強化		242010	地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対し機能訓練、社会適応訓練のサービスを供与する。	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
みんなの幸せを支える福祉環境づくり	1-2-3 困難を抱えた家庭への自立支援	(1) 家庭児童相談員事業	253010	家庭児童相談室において、家庭における適性な児童の養育、その他家庭児童福祉に関する相談指導業務。	家庭児童福祉に関する相談業務の充実強化と児童虐待の対応と未然防止	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(2) 高等職業訓練促進費給付事業	253020	生活安定に資する資格取得を促進するため、当該資格に係る養成期間について、高等技能促進費を支給し、生活の負担軽減を図り、資格取得を容易にする。	看護学校生徒等への給付金、3名に12ヶ月分支給	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(3) 自立支援教育訓練給付事業	253030	就業を希望するひとり親家庭の父母に対して、受講した教育訓練講座に係る費用の一部を給付金として支給することにより、スキルアップとひとり親家庭の自立の促進を図る。	ヘルパー講習会受講料等の2割補助、29年度は実績なし	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(4) 児童扶養手当給付事業	253040	離婚等により父又は母がいない、もしくは父又は母が一定の障害若しくは重度の障害がある18歳未満の児童を監護している者に対し、手当を支給する。	児童扶養手当の給付	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	1-3-2(5)
		(5) 母子生活支援施設措置事業	253050	母子家庭で、様々な事情で入所された母子に対して、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援します。	母子の自立促進のための生活支援として施設入所の措置費	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(6) 生活保護支給事業	264010	生活困窮者に、生活・住宅・教育・医療・介護・出産・生業・葬祭・施設事務費の扶助事業を適正に実施する。	生活保護法に基づき適正実施	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
		(7) 生活保護適正実施推進事業	264020	生活保護の適正な運営を確保するため、各種の点検や職員の研修によりスキルを高める。	生活保護法に基づき適正実施	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
		(8) 生活困窮者自立支援事業	264030	・生活困窮者からの相談に応じ、生活全般にわたる包括的支援を行うため、関係機関等の連絡調整等の支援を行う。 ・離職により住宅を失う又は失う恐れの高い生活困窮者に対し、安定的に就職活動ができるよう、有期で家賃相当額を支給する。	「相談支援窓口・住居確保給付金」事務を継続実施(相談件数19件)	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
		(9) 障がい者が暮らしやすいまちづくり推進事業	-	共生社会の実現と、物理的にも精神的にもバリアフリー化の取り組みを進め、障がい者が暮らしやすいまちづくりを目指す。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	介護福祉課	-
		(10) 生活支援体制整備事業	-	地域の互助により住民が安心して心豊かに暮らせる社会の構築をめざし、地域資源の開発およびネットワークの構築を推進する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	介護福祉課	-
結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	1-3-1 仕事と子育ての両立支援の充実	(1) 児童福祉施設(保育所・こども園)運営事業	251010	子ども・子育て支援法の規定に基づき、乳幼児の保育を実施し、その健全なる育成を行う事業。	就学前児童の保育事業を実施	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(2) 私立保育所運営補助金事業	251020	私立保育所に対する保育需要に応え、児童福祉の向上を図るため、私立保育所の運営に対する経費の補助事業。	前年度に引き続き、延長保育・一時預かり事業・職員の処遇改善事業に対して補助を行い需要に対する対応を行った	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(3) 市外委託保育実施事業	251030	保育の必要性のある児童で市内保育所に通えない場合に市外の市町村にある保育所に入所させる事業。	市外への入所希望の保護者への対応の実施 利用者増加傾向	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(4) 一時保育事業	251040	多様化する保育需要に対応するため、断続的又は緊急若しくは一時的に保育を必要とする児童に対し、一時的な保育を実施する。	保護者のニーズにあった一時保育事業の実施 利用者増加傾向	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(5) 病後児保育事業	251070	保護者が就労している場合等において、子どもの病気が回復期にあるときに自宅での保育が困難な場合に病後児保育を実施する。	病気の回復期にあたる児童を大宇陀こども園病後児保育室で保育。	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(6) 仕事と子育ての両立支援	-	育児をしながら就業できる環境づくり	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	子ども未来課	-
		(7) 働く子育て世代の図書館利用の充実	-	図書館の利用時間を延長し、働く子育て世代が子どもと一緒に利用できるようにする。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	教育委員会事務局	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	1-3-2 子育て支援の充実	(1) 宇陀こども元気プロジェクト	251090	「子どもの体力向上」として、子ども元気ダンスを策定し、各こども園、幼稚園、保育園のカリキュラムに取り入れ体力向上に取り組む。	市内の幼稚園、保育所、こども園の教育・保育カリキュラムの中に専門的分野での体育指導を行い、より効果的な運動遊びを取り入れて幼児の体力向上を図る。	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(2) 菟田野こども園実施設計等委託事業	251100	菟田野こども園建設に向け、測量・登記・造成・建築実施設計を行う。 ※平成28年度から平成29年度へ事業を繰越	設計業務を委託し、建設予定地の開発行為許可を得た。	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(3) こども園給食調理業務委託事業	251110	こども園の給食調理業務を民間委託実施し、民間の豊富な知識や経験を取り入れ、乳幼児に良質な給食を提供し、安全・円滑な運営を実施する。	大宇陀こども園、室生こども園の給食調理業務を民間委託実施することにより、今まで直営で実施してきた業務に加え民間の豊富な経験や知識を取り入れて、乳幼児に良質な給食を提供し、安全・円滑な運営を実施する。(給食の献立、食材の発注は、従前どおり市が実施)	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(4) 児童手当給付事業	252010	次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校終了まで全ての児童を対象に手当を支給する。	児童手当の適正な給付	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(5) 児童扶養手当給付事業	252020	離婚等により父又は母がいない、もしくは父又は母が一定の障害若しくは重度の障害がある18歳未満の児童を監護している者に対し、手当を支給する。	児童扶養手当の適正な給付	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	1-2-3(4)
		(6) 放課後健全育成事業	252030	保護者が労働等により昼間家庭にいない市内小学校の児童に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。	NPO法人学童クラブうだへ5学童を委託、適正な運営を実施	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(7) 「うだ育児の日」啓発事業	252040	「うだ育児の日」啓発事業。	毎月19日を「宇陀育児の日」として広報・HP・チラシ・市掲示板で啓発・周知	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(8) 出産祝い品支給事業	252050	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い金を支給し、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進に資する。	ウッピー商品券(1万円)の贈呈と子育て支援の周知	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(9) こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	252060	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、相談や情報提供を行うとともに地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。	乳児家庭の全戸訪問実施で相談や助言と情報を提供	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(10) 乳幼児用補助装置(ベビーシート)貸与事業	252070	新生児から6ヶ月未満の乳児を保護養育している人を対象にベビーシートを貸与する。	概ね生後半年までの乳児に対するベビーシート貸与	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(11) 子育て支援センター運営費	252100	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報提供、助言などを行うことにより地域の子育て支援機能の充実を図る。	子育て親子の交流の場の提供、子育てに家庭に対する育児支援の実施	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(12) ファミリーサポートセンター運営費	252110	生後6ヶ月から小学校3年生までの子どもを養育している者を対象に、子育てサポーターを養成・派遣し、保護者の仕事の育児の両立や地域の子育て支援の環境づくりを実施する。	会員の登録増大と個人および団体のファミリーサポートの利用拡大	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(13) ファーストバースデー祝い品事業	252130	誕生後、初めての誕生日を迎える幼児に、元気にすくすくと成長することを願いバースデー祝い品(絵本)を贈呈し、子育て世代の定着化と子どもの誕生祝を行う。	はじめての誕生日に絵本を贈呈と子育て支援の周知	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(14) 少子化対策強化事業	252170	若者が結婚に夢をもち、不安なく子育てが出来るように市民全体で、結婚や子育てを応援していくため、出会い、結婚、出産、育児にかかる情報等の一元化したサイトの作成を行い、「いつでも、どこでも、誰もが」情報取得を可能とする。	市HP子育て情報サイト及び市FBIによる積極的な情報発信に努めた。	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(15) トリプルチルドレン応援事業	252180	多子世帯による子育て・教育支援として多子世帯家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図るため、第3子以降の子どもを出産された者にウッピー商品券で補助する。	多子世帯の経済的負担の軽減と子育て支援 (ウッピー商品券:第3子5万円 第4子以降10万円)	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(16) びかびか1年生応援事業	252190	子育て世帯による教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校入学を迎える児童を養育している者に入学準備金として補助する。	小中学校入学の新1年生にお祝いとしてウッピー商品券1万円を贈呈	A	1.今後も継続して取り組む	こども未来課	-
		(17) 子育て支援環境の整備	-	保育士などの待遇改善	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	こども未来課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	1-3-3 母子保健事業の充実	(1) 母子保健事業 乳幼児健康診査	212040	児の発育状況や育児の状況を把握し、必要な助言・指導を行う。児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に健康診査を実施する。(乳児健康診査・1歳6ヶ月児健康診査・2歳児歯科健康診査・3歳児健康診査)	健診受診率:乳児健診 97.2% 1歳6か月 97.6% 3歳児健診 94.3%	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(2) 妊婦健康診査事業	213030	妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診費用負担。	平成27年度より 254010へ統合	D	-	健康増進課	-
		(3) 妊婦健康診査・母子手帳交付	254010	妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診費用負担。	母子健康手帳交付112名、満11週以内に妊娠届をした人の割合98.2%	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(4) 乳幼児健康診査	254020	児の発育状況や育児の状況を把握し、必要な助言・指導を行う。児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に健康診査を実施する。(乳児健康診査・1歳6ヶ月児健康診査・2歳児歯科健康診査・3歳児健康診査)	健診受診率:乳児健診 97.2% 1歳6か月 97.6% 3歳児健診 94.3% 次回の健診に受診及び面接訪問、保育所連絡によりほぼ100%現認できている。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(5) 母子健康事業育児支援	254030	妊婦から乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。また、助産師・保健師による乳児(新生児)・産婦の訪問指導を実施する。	育児教室参加率 32.1%であるが、第1子参加率は58.3%であった。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(6) 経過観察児のための教室・発達相談	254040	健診の結果、精神面発達の経過観察が必要な児が集まり、親子遊び、保護者の交流、育児の悩みや不安についての相談の場とする教室を実施する。また、心理発達相談員による発達相談を実施する。	発達相談述べ人数26人。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
地域福祉・地域医療体制の充実	1-4-1 保健事業の充実	(1) 精神保健事業	212010	精神疾患に対する理解を深め、精神障がい者及び家族を支援する。また、自殺対策を強化するためにゲートキーパー養成講座を実施する。	継続してゲートキーパー養成講座を実施し、相談窓口の充実や自殺予防対策に取り組んだ。受講者数95名 また、こころの病気の普及啓発としてこころの健康づくり学習会を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(2) 予防接種事業	212020	感染症を予防するために、予防接種を実施する。	予防接種説明会を実施し出席率72.6%、欠席者には個別対応しほぼ100%周知。健診・教室などを通じ接種勧奨を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(3) 高齢者予防接種事業	212030	65歳以上の高齢者及び60歳～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザ予防接種及び肺炎球菌ワクチン予防接種をすることで、罹患・重症化を予防し、健康寿命の延伸につなげる。	インフルエンザは、広報やホームページ、ケーブルテレビで周知。高齢者肺炎球菌ワクチン対象者には個別通知実施。インフルエンザ接種率51.8%・高齢者肺炎球菌接種率51.3%	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
	1-4-2 医療体制の充実	(1) 宇陀市立病院事業(企業会計)	221010	地域の基幹病院として、二次救急医療機関の役割を担い、地域住民の医療の確保と、疾病予防の事業を行う。	医療収益が前年度より7,100万円増の296,100万円となったが経常損益では昨年より△900万円減となった。内訳として収益は増加したものの、入院患者の増加により、給食委託料増及び電子カルテ導入事業により経費が2,700万円の増、償還金の減により一般会計からの繰入金などが減と約△5,300万円の減によるものである。	B	1.今後も継続して取り組む	市立病院	-
		(2) 宇陀市国民健康保険直営診療所事業(特別会計)	221020	過疎化・高齢化が進む医療過疎地域に診療所を設置し、一次診療をおこない、高度な医療が必要な場合は、宇陀市立病院と連携を図り、早期治療ができるよう医療体制の充実を促進する。	年度途中から管理医師が病休のため、他病院からの派遣医師による運営をおこなった。	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(3) 桜井地区病院群輪番制病院運営事業	221030	平日の夜間・休日・年末年始における治療を必要とする救急患者に対しての医療を確保するため、当番制で患者を受け入れる。	平成27年度下半期 平成28年度上半期 982人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(4) 小児深夜診療負担事業	221040	小児の救急時の受け入れを確保するため、橿原市休日夜間応急診療所運営費の一部を負担する。	平成29年度宇陀市から36人利用	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(5) 産婦人科一次救急体制整備事業	221050	妊婦の救急時の受け入れを確保する。病院群輪番制及び在宅当番医制による毎休日・夜間の救急体制を確保する。	患者数5人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
		(6) 電子カルテシステム及び連携機関との情報ネットワーク構築	221060	地域包括ケアシステムを構築するにあたり、ICTを用いたネットワーク構築や院内の医療情報システムの電子カルテ化を図る。また、病院とへき地診療所、市内医療機関等地域包括ケアに参加する事業所との情報ネットワーク化を図り、在宅医療に係る整備を行う。 ※平成29年度において、債務負担行為を設定した為、金額を変更。	電子カルテ導入に向けて、導入業者を決定した。また、情報ネットワークの構築に向けて、連携関係機関と協議調整中。	A	1.今後も継続して取り組む	市立病院	-
		(7) 在宅医療・介護連携推進事業	221070	-	地域医療連携会議を年3回実施し、医療と介護の連携の課題について協議している。課題に合わせた解決策として、医療と介護の情報共有するICTの導入やおくすり手帳の重要事項などを集約した「私のあんしん手帳」の内容を検討した。多職種顔の見える関係づくりのためUTR(宇陀多職種連携の会)年5回実施。	A	1.今後も継続して取り組む	医療介護あんしんセンター	1-2-1(11)
	(8) 地域医療介護連携ICT導入検討事業	-	医療介護従事者の情報連携をICTすることにより、医療介護サービスの充実や安定、及び包括支援システムの推進を目的として事業を推進する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	健康増進課	-	

<進行管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
地域福祉・地域医療体制の充実	1-4-2 医療体制の充実	(9) 地域医療体制整備検討事業	-	宇陀市(健康福祉部・市立病院)、奈良県、奈良県立医大等において、医師招聘について検討・調査研究を行う。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	健康増進課	-
		(10) 訪問医療体制の整備	-	また、今後の地域医療体制について、有識者、医療関係者と共に民間の医師、人材紹介・斡旋会社とも連携し、医師の招聘に向けて協議する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	健康増進課	-
		(11) 医療体制の充実	-	医師会と市立病院、介護施設等の連携による訪問医療チームを編成し、地域包括ケアシステムを推進する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	宇陀市立病院経営企画課	-
	1-4-3 医療保険・医療費助成の推進	(1) 人間ドック、脳ドック助成事業(特別会計)	222010	35歳以上の国保加入者に対して、人間ドック、脳ドックの受診費用の一部を助成することにより受診を促進し、病気の発生予防・早期発見による重症化の防止等を図り、加入者の健康保持、医療費の適正化・削減を目指す。	人間ドック402名・脳ドック216名を実施した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(2) 未熟児養育医療給付事業	222020	低体重など身体の発育が十分でないまま生まれた赤ちゃんは家庭で養育することが難しいことから、医師が入院治療が必要と認めたとお子さんに対し、必要な医療の給付を行う。	年間7人で延べ11件未熟児養育医療を給付した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(3) 子ども医療費助成事業	222030	乳幼児を養育している者に対し、当該乳幼児に係る医療費の一部を助成し、乳幼児の健康の保持及び福祉の増進を図る。また宇陀市独自の施策として、子どもの入院医療費(保険診療分)について、中学校卒業時まで全額補助する。平成28年8月分診療分から小中学生の通院助成を拡大する。	生後より中学卒業までの対象者に医療費を給付した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(4) 心身障害者医療費助成事業	222050	後期高齢者を除く一定の障害を有する者に対し、医療費の一部を助成し、心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図る。	身体障害者手帳1・2級と療育手帳A級の対象者に医療費を給付した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(5) ひとり親家庭等医療費助成事業	222060	ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成する。	ひとり親の対象者に医療費を給付した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(6) 重度心身老人等医療費助成事業	222070	心身障害者医療費助成事業の対象となる障がいを持つ者で、後期高齢者医療制度加入者などに対し、医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図る。	重度心身障害老人の対象者に医療費を給付した	A	1.今後も継続して取り組む	保険年金課	-
		(7) 不妊治療助成事業	222080	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資するための施策として、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図る。	20人	A	1.今後も継続して取り組む	健康増進課	-
	1-4-4 地域福祉の環境づくり	(1) 地域ケア会議	231160	地域の高齢者や介護等が必要な高齢者が住み慣れた住まいで生活することを地域全体で支援していくことを目的とする。	H27年度～高齢者の暮らしを支える懇話会を開催し、地域の各組織や医療介護の専門職が集まり、高齢者の暮らしの課題を話し合っている。平成29年度は「買い物支援」について協議した。	A	1.今後も継続して取り組む	医療介護あんしんセンター	-
		(2) 高齢者等見守り事業	261010	ひとり暮らしの高齢者等を孤立させず、更には自立を促し、高齢者や障害者自身が自ら生き生き暮らしていけるよう支援していくため、地域による見守り、声かけ、身近な支え合いなどを通じて地域のつながりや顔の見える関係づくりをしていく。再掲(231050)	計画どおり実施	A	1.今後も継続して取り組む	介護福祉課	-
		(3) 公共施設におけるバリアフリー化	262010	高齢、乳幼児、障害者等が安心・安全に利用出来るよう、ユニバーサルデザインの普及につとめ、公共施設のバリアフリー化を推進する。	0	D	-	全庁	-
		(4) 地域福祉拠点整備事業	262030	-	H28年度に基本構想完了 整備事業については中止	C	2.取組みを終了した	介護福祉課	-
(5) 地域福祉計画の策定		263010	-	予算確保できず、次年度へ繰越	D	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	介護福祉課	-	
(6) 民生委員・児童委員活動費負担事業		263020	住民に最も身近なところで、住民の立場に立ち、社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員の活動支援を行う事業。	県負担金による民生児童委員活動費として支出	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-	
(7) 戦没者並びに消防殉職者追悼式、地区慰霊祭事務事業		263030	戦没者並びに消防殉職者の追悼を行い、恒久平和確立のための誓いを新たにする取り組みを行う。	遺家族235名、来賓64名が参列され挙行	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
地域福祉・地域医療体制の充実	1-4-4 地域福祉の環境づくり	(8) 市遺族会活動補助事業	263040	市遺族会への活動支援。	加入899世帯による遺族会への活動費補助	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
		(9) 心配ごと相談事業	263050	民生委員・児童委員が相談員として、日常生活上の悩みや心配ごとについて毎月定期的に相談所を開設し、助言や支援を行う。	民生委員・児童委員により各地域毎月1回実施(相談件数16件)	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
		(10) 地域ケア会議(自立支援型)	-	要介護状態、虚弱になってきた高齢者の身体状況や生活状況をアセスメントしながら、自立に向けたケアプランを作成する会議を実施する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	医療介護あんしんセンター	-
みんなが住み良いまちづくりの実現	2-1-1 良好な景観や環境に配慮したまちの形成	(1) 都市計画の見直し	141020	都市計画法の改正によって、県より市町村への権限移譲について、宇陀市の都市計画を随時見直しを行う。 平成28年より都市計画道路の見直し。	立地適正化計画策定作業	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	3-4-3(2)
		(2) 自転車等放置防止対策事業	141030	景観や環境に配慮、安全に通行できるため、近鉄榛原駅周辺の放置自転車等防止対策業務を行う。 平成28年度まで業務委託。平成29年度から職員対応予定。	毎月1回巡視し啓発活動に努めている。放置数は減少した。	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	2-1-2(5)
		(3) 空き家実態調査	141040	適切な管理が行われていない空き家等が、防災・衛生・景観等に深刻な影響を及ぼしている可能性があることから、空き家の適正管理、活用促進等を目的として空き家の実態調査を実施する。	726件の空家を確認	A	2.取組みを終了した	環境対策課	-
	2-1-2 交通安全関連の整備	(1) 桜井・宇陀・東吉野地区交通安全協議会支援事業	334010	宇陀署管内の交通事故防止対策を推進し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通の安全と円滑化を図る公益団体への負担金。	県警からの派遣職員により、桜井署管内各機関と連携を密に啓発活動を行った	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(2) 交通安全協会分会支援事業	334020	地域における交通事故のない安全で明るい地域社会づくりを推進するための交通安全協会分会への補助事業。	1日・15日の街頭指導をはじめ交通安全啓発を実施した	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(3) 宇陀市交通安全協議会支援事業	334030	本市の交通事故防止対策を推進し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通の安全と円滑化を図るための補助事業。	宇陀市の交通安全対策推進のため春秋の啓発を実施した	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(4) 交通安全母の会支援事業	334040	地域における母親の交通安全活動の強化と充実を図るとともに、母親の立場から交通安全を推進する会への補助事業。	春秋の交通安全運動期間中に家庭の目線から啓発実施した	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(5) 自転車等放置防止対策事業	334050	景観や環境に配慮、安全に通行できるため、近鉄榛原駅周辺の放置自転車等防止対策業務を行う。 平成28年度まで業務委託。平成29年度から職員対応予定。	毎月1回巡視し啓発活動に努めている。放置数は減少した。	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	2-1-1(2)
		(6) 交通安全施設整備事業	334060	市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵の新設、補修を行う。	322020の再掲	D	-	建設課	2-3-1(21)
	2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化	(1) 生活安全対策事業	353010	防犯意識の高揚と防犯灯の設置事業を推進し、安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。	引き続きLED化を推進	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(2) 消費者生活相談事業	353020	多様な消費者被害、架空請求、振り込み詐欺の多発、食品における安全、安心をゆるがす事件が多発している問題に対応するため、安全、安心な消費生活実現のため相談窓口の強化に取り組む。	多様な消費者被害に対応し、安全、安心な消費生活実現するため、相談窓口の強化・PRIに取り組む。相談件数48件	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
		(3) 署管内防犯協議会支援事業	353030	防犯思想の普及・啓発、防犯キャンペーン、地域安全指導員や市民による安全活動を行う公益団体の負担金。	県警からの派遣職員により、桜井署管内各機関と連携を密に啓発活動を行った	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(4) 宇陀地区保護司会支援事業	353040	保護司法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた民間ボランティアの保護司が組織する会への助成事業。	毎年7月の社会を明るくする運動等啓発活動の実施	A	1.今後も継続して取り組む	厚生保護課	-
(5) 署管内少年補導委員会支援事業		353050	街頭補導活動を大きな任務とし、定期的に危険箇所や非行重点巡視箇所の点検を行い、青少年の非行防止と健全育成を行う公益組織への補助事業。	県警からの派遣職員により、桜井署管内各機関と連携を密に啓発活動を行った	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
みんなが住み良いまちづくりの実現	2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化	(6) 防犯ブザー配布事業	353060	登下校の安全を図るため、小中学校新1年生に防犯ブザーを配布する事業。	小中学校新1年生全員に配付	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(7) 防犯パトロール事業	353070	安全で住みよいまちづくりのための青色回転灯防犯パトロール及び住民啓発事業。(公用車燃料費等を計上)	関係各課と連携し青色防犯パトロールを実施した	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
移住・定住の促進強化	2-2-1 土地利用の推進	(1) 都市計画マスタープラン策定事業(都市計画の見直し)	311010	-	平成29年3月に策定完了	B	2.取組みを終了した	まちづくり推進課	-
		(2) 地籍調査事業	311020	土地の保全及び土地利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため土地の実態を科学的かつ総合的に調査する。	計画予定通りに実施	A	1.今後も継続して取り組む	地籍調査課	-
	2-2-2 定住につながる環境づくり	(1) 結婚支援事業	312020	結婚を望む独身の男女に対し、新たな出会いや結婚の機会の創出を支援する。	2団体が主催し、52名の参加者の内7組のカップル成立	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	-
		(2) 子育て世代定住支援事業	312030	18歳以下の子どもがいる世帯の転入転居に対して、定住促進奨励金交付事業に上乘せを行う。	312010を参照	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	-
		(3) 20歳の同窓会「アタック25」	312040	市内で開催される市在住または出身の25歳より25歳以上参加の市内で開催する同窓会に対して2,500円/人を補助する。	3同窓会開催、66名参加	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	-
		(4) 地方創生事業「まちづくり基本計画(案)策定事業	312060	奈良県とのまちづくりに関する連携協定に基づき基本構想の策定を行う。	宇陀松山周辺地区、近鉄榛原駅周辺地区の基本計画策定	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	-
		(5) 市営住宅長寿命化対策事業	313030	市営住宅は老朽化が進み、長寿命化や有効かつ効率的な管理運営を図り、市民の住環境を充実させる取り組みを推進する。	長寿命化に資する屋根改善工事16棟32戸完了。(28年度から3か年の事業計画戸数38棟75戸)	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	公営住宅課	-
	2-2-3 U・I・Jターンの促進	(1) 定住促進奨励事業	312010	定住化と人口増加及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付する。	64件の申請、29家族84名が家の新築又は購入による転入	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	2-2-3(3)
		(2) 空き家情報バンク事業	313010	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。	新規物件登録34件、成約件数15件	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	2-2-3(4)
		(3) 定住促進奨励事業	552010	定住化と人口増加及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付する。	312010を参照	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	2-2-3(1)
		(4) 空き家情報バンク事業	552020	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。	313010を参照	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	2-2-3(2)
		(5) 大和高原しごとづくり事業	552030	地域おこし協力隊制度を活用し、全国から起業家を募集する。起業家育成プログラムを官民連携により実施し、本市の地域資源を最大限に活用した起業家の育成を行う。	地域おこし協力隊制度を活用し、起業家が市内にて活動。3年以内の起業を目指す。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(6) 移住者向けお試し住宅	-	UIJを対象として、子育て世代や移住希望者向けの住宅施策を進める。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	まちづくり支援課・公営住宅課	-
公共インフラの持続的な整備・維持・活用	2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備	(1) 市道萩原12号線道整備事業	321030	道路整備により消防車等の緊急車両が通行可能となり、地域の安心・安全な暮らしを確保する。また、榛原駅周辺の整備を行い、にぎわいのある中心市街地を図る。	事業用地の一部を取得	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	-
		(2) 市道舗装等維持補修事業	321050	市道を安心して利用できるよう、舗装補修や道路側溝、街路灯の補修等を行う。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-

<進行管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
公共インフラの持続的な整備・維持・活用	2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備	(3) 道路アクセス等整備計画(室生口大野駅周辺)	321060	-	-	未実施	D	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	建設課	2-3-2(2)
		(4) 社会資本整備総合交付金事業(市道春日小附・春日藤井線)	321070	道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。また、うだアニマルパークへの南側からのアクセス道路としての機能を充実させる。	社会資本整備交付金の減に伴い、計画を次年度に繰越	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(5) 橋梁長寿命化修繕計画策定	321080	道路交通の安全を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化を図るため、修繕計画を策定する。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(6) 中心市街地周辺の道路整備事業(下井足高萩線整備事業)	321090	長谷寺7号踏切の渋滞緩和や、交通安全対策、榛原駅周辺市街地を結ぶアクセス道路の整備。	未実施	D	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	-	
		(7) (仮称)大和高原中央道整備事業	321100	名阪国道と奈良県中南部を結ぶ主要幹線道路を整備することにより、県中南部の産業経済、観光開発等活性化を図ることを目的に、関係市町村と連携し、整備促進に向け活動を展開する。	未実施	D	4.取組みを終了すべき	建設課	-	
		(8) 宮奥関戸地区観光道路ネットワーク整備事業	321110	大型車等のスムーズな通行を確保し、観光道路ネットワークの整備を行うと共に地域の生活道路の改善を図る。	未実施	D	4.取組みを終了すべき	建設課	-	
		(9) 橋梁・トンネル等道路施設点検事業	321120	道路交通の安全を確保する上で、定期的に点検を行い道路機能の健全化を図る。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(20) 市立病院周辺整備事業	322010	国道370号線菟田川通り線の慢性的な渋滞緩和及び大宇陀方面、菟田野方面、曾爾村、御杖村方面から市立病院へのアクセス道路網の整備を行う。 ※計画の見直し	未実施	C	2.取組みを終了した	まちづくり推進課	2-3-1(20)	
		(11) 平井比布線道路整備事業	321140	-	H28年度事業完了	B	2.取組みを終了した	建設課	-	
		(12) 春日野依線道路整備事業	321150	大型車等のスムーズな通行を確保し、観光道路ネットワークの整備を行うと共に道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。 また、うだアニマルパークへのアクセス道路としての機能を充実させる。	H29年度事業完了	B	2.取組みを終了した	建設課	-	
		(13) 市道玉立2号線	321160	-	321210へ統合	D	-	建設課	-	
		(14) 市道奥山鳴谷線	321170	名阪国道からの大型車等のスムーズな通行を確保し、観光道路ネットワークの整備を行うと共に地域の生活道路の改善を図る。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(15) 市道大東黒木線	321180	大型車等のスムーズな通行を確保し、観光道路ネットワークの整備を行うと共に地域の生活道路の改善を図る。	他の要因により、休止	C	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(16) 大宇陀伊那佐線	321190	道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。また、うだアニマルパークへの南側からのアクセス道路としての機能を充実させる。	休止	C	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	建設課	-	
		(17) 市道踏切改良工事負担金	321200	-	休止	C	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(18) 社会資本整備総合交付金事業 市道玉立2号線	321210	当路線は、国道370号と国道165号を結ぶ主要幹線道路として重要な役割を担っているが、経年により舗装面が老朽化し、通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、歩行者の安全確保及び利便性の向上を図る。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-	
		(19) 都市計画道路見直し業務	321220	人口減少や自動車交通量が将来的には減少する等、社会情勢が計画当時と比べ大きく変化していることから、計画決定から長期間未着手となっている都市計画道路について、その必要性を検討し、都市計画法第53条による建築物の制限を解除する。	見直し案の作成、パブリックコメント実施	A	3.取組みを終了する見込みである	まちづくり推進課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
公共インフラの持続的な整備・維持・活用	2-3-1 安全で快適な道路環境の維持・整備	(20) 市立病院周辺整備事業	322010	国道370号線菟田川通り線の慢性的な渋滞緩和及び大宇陀方面、菟田野方面、曾爾村、御杖村方面から市立病院へのアクセス道路網の整備を行う。 ※計画の見直し	未実施	C	2.取組みを終了した	まちづくり推進課	2-3-1(20)
		(21) 交通安全施設整備事業	322020	市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵の新設、補修を行う。	今後も引き続き計画的に実施予定	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	2-1-2(6)
		(22) 遊歩道整備事業	322030	市内の観光施設を結ぶ歩道として地域観光及び住民の生活向上を図ることを目的に、県事業により実施する。	未実施	D	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	建設課	-
		(23) 駐車場整備事業	322040	道路への車輛の流入によって発生する交通停滞を解消し、緊急車両の円滑かつ迅速な通行を確保するとともに、災害発生時には同地区の防災拠点となる施設整備を実施する。	計画どおり実施	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	建設課	-
		(24) 観光駐車場整備事業	322050	観光地区内道路への車輛の流入を解消し、緊急車両の円滑かつ迅速な通行を確保するとともに、地区内の歩行者の安全な歩行空間を確保し、同地区内の歩行周遊面での観光促進にも寄与する施設整備を実施する。	H29年度事業完了	B	2.取組みを終了した	建設課	-
		(25) 社会資本整備総合交付金事業 道路災害防除	322060	(市道 長峯大野線) 道路法面の落石及び岩盤の崩落を防ぎ道路災害を未然に防ぐため、必要な対策についての事業計画を策定する。 平成29年度事業系策定。平成30年度以降事業実施。	調査業務を終了、次年度以降、対策工事を実施	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-
	2-3-2 地域公共交通の充実	(1) 榛原駅周辺の総合施設整備事業(駅及び駅周辺整備事業)	331010	近鉄榛原駅を中心とする市街地の道路整備を行い、宇陀市の玄関口としてふさわしい環境づくりに資する。	事業用地の一部を取得	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	-
		(2) 道路アクセス等整備計画(室生口大野駅周辺)	332010	-	321060の再掲	D	-	建設課	2-3-1(3)
		(3) 代替バス運行事業(市営有償バス運行事業:榛原大野線・大宇陀南部線)	333010	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図る。	地域に根差した公共交通として定着している。 ただし、定期的な利用者の減少により、利用率も大幅に減少。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(4) ほっとバス錦運営協議会支援事業	333020	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。	市内の運行地域での利用も多く、運営に寄与している。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(5) デマンド型乗合タクシー運行事業	333030	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段として、デマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図る。	昨年に比べて利用数が減少。登録のみされている方が多くいる。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(6) 過疎地有償運送(らくらくバス)支援事業	333040	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域の交通手段の確保を目的に、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助事業。	昨年に比べて、利用者は微増。利用者の固定化により利用率が例年ほぼ横ばいとなっている。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(7) 奈良交通路線バス運行支援事業	333050	奈良交通が運行している不採算バス路線の運行に対し補助事業。	奈良交通側に補助金を支出することで、路線バス維持・確保を図った。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(8) 宇陀市地域公共交通活性化再生協議会負担金	333070	宇陀市地域公共交通網形成計画に基づき、当該計画に位置づけた事業の実施。	地域公共交通網形成計画の推進に係る事業の調査・検討等業務として、榛原大野線利用者・らくらくバス利用者に対し、アンケートを実施。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(9) 宇陀地域公共交通活性化協議会負担金	333080	奈良交通路線バスの奥宇陀線が運行している宇陀市と曾爾村、ならびに隣接する御杖村との連携(計1市2村)により、道路運送法と地域公共交通活性化再生法に基づく協議会を立ち上げ、移動手段の維持・確保に資する運行改善を行うため、新たな形態での運行も視野に入れた調査・検討等を行う。	奥宇陀線貨客混載社会実験・効果検証業務を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
2-3-3 安心・安全な上下水道の維持・整備	(1) 水質保全業務(特別会計) H29～企業会計	341010	給水加入者に安心・安全・安定した飲料水の供給を目指して、水道施設の管理・運営を行う。 H29～企業会計	水道施設の管理運営を実施している。	A	1.今後も継続して取り組む	水道局施設課	-	
	(2) 未普及地域の解消(特別会計、企業会計) H29～企業会計のみ	341020	未普及地域(田原、松井、高井系、玉立赤瀬簡易水道区域内)において安定した水量、安全な水質を確保できる生活基盤の改善を図る。 H29～企業会計のみ	計画地域については、各地区とも着実に進捗している。	A	1.今後も継続して取り組む	水道局施設課	-	

<進行管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
公共インフラの持続的な整備・維持・活用	2-3-3 安心・安全な上下水道の維持・整備	(3) 給水区間の施設統合事業(特別会計)H29～企業会計	341030	室生三本松に受水地を建設し、県営水道に切り替え大野三本松簡易水道と古大野飲料水供給施設とを統合整備する。 H29～企業会計	初期の目的を達成(事業完了)	B	2.取組みを終了した	水道局施設課	-
		(4) 老朽化施設の計画的更新(企業会計)	341040	耐用年数を経過している水道管を計画的に耐震構造により伏せ替えを行う。	関連事業と連携を取りながら計画的に進めている。	A	1.今後も継続して取り組む	水道局施設課	-
		(5) 水道事業経営戦略策定業務委託	341050	-	平成28年度に完成し、ホームページで公表している	B	2.取組みを終了した	水道局総務課	-
		(6) 水道給水車の配備(特別会計)	341060	災害発生時、大規模な漏水事故が発生した場合、水道管破裂により飲料水を供給できなくなるため、各家庭、避難所、公共施設へ応急給水活動が迅速に取れるように専用給水車の導入を行う。	平成29年度に配備完了	B	2.取組みを終了した	水道局総務課	-
		(7) 榛原第2中継ポンプ場長寿命化対策事業(特別会計)	342030	老朽化が進む榛原第2中継ポンプ場の設備を長寿命化計画に基づき更新・更改し、施設の長寿命化を図る。	平成26年度より5箇年計画で長寿命化計画を基に改築更新工事を実施し、計画どおり実施できている。	A	3.取組みを終了する見込みである	水道局下水道課	-
		(8) 天満台地区Ⅱ工区管路更正事業(特別会計)	342040	老朽化が進んでいる天満台地区の下水道管を長寿命化計画を策定し、それに基づき管路更生工事を計画的に行い、管路の長寿命化と不明水の侵入を排除する。	管路カメラ調査を実施し天満台全域のカメラ調査が完了した。	A	1.今後も継続して取り組む	水道局下水道課	-
		(9) 下水道ストックマネジメント計画策定業務委託(特別会計)	342050	持続可能な下水道事業の実施を目的に、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理を行う基本方針である下水道ストックマネジメント計画を策定する。	平成28年度より3箇年により計画策定業務に着手し、計画どおり実施できている。	A	3.取組みを終了する見込みである	水道局下水道課	-
	2-3-4 地域情報化の推進	(1) 自主放送事業の充実	361010	撮影・事務スペースの整った官民協働で使用することが出来るスタジオを整備し、対談番組など魅力ある番組制作に繋げる。	スタジオ移転先を検討中。動画率、56.0%を達成。	B	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(2) 庁内業務のIT化	361030	庁内業務のIT化に対応するため、基幹系・情報系システムの適切な運用・保守を行う。	LG系とインターネット系を分離後の円滑な事務の実施を行った	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(3) 社会保障・税番号制度システム改修	361040	社会保障・税番号制度システムの構築を図るとともに、適切な運用保守を行う。	国が示すシステムの構築を完了した。	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(4) フェイスブックの運用	361050	平成24年度から運用している公式ツイッターより一層効果的に行政情報や市の魅力を発信するため、フェイスブックページを開設・運営する。 ※平成26年度末、既存のツイッターアカウントを統廃合し、フェイスブックへの移行を行った。	公式インスタグラムの開設と併せ、フェイスブックの積極的な運用に努めた	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(5) 議会ICT化整備事業	361060	-	①資料を受け取るタイムラグが無く常に最新情報の共有が可能となった。 ②スケジュールやファイル管理・災害時の情報収集と緊急連絡が可能となった。 ③印刷物の省資源化と印刷にかかる労務が軽減された。	A	1.今後も継続して取り組む	議会事務局	-
		(6) 議場映像配信システム更新事業	361070	庁舎建設当初からの議場内の映像配信システムを更新し、全てデジタル化することにより、より鮮明な画像と音声でテレビ中継ができる。 平成29年度8月末までに更新完了し9月議会から映像配信を行う。	①機器を更新しデジタル化したことにより、鮮明な画像と音声でテレビ中継を行っている。	A	1.今後も継続して取り組む	議会事務局	-
		(7) 地域ケーブルテレビネットワーク整備事業	361080	菟田野・室生地域ネットワークの強靱化を図るためのループ回線を整備する。	強靱化(二重化)を行った	B	2.取組みを終了した	秘書広報情報課	-
(8) 電子入札システム導入事業	361090	入札における透明性の向上や競争性の確保のため、電子入札を導入する。 平成30年度からの運用を目指しシステムの導入を行う。	電子入札システム導入業務委託によりシステム構築を実施	A	1.今後も継続して取り組む	管財課	-		
(9) 自主放送(うだチャン11)	611010	自主放送(うだチャン11)番組の制作「まちの話題」「行政企画番組」を民間に委託し、官民協働の番組作りを推進する。	官民協働による番組制作を推進した。	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-		
災害に備えた安全・安心な暮らしの実現	2-4-1 災害の未然防止対策の推進	(1) 急傾斜地崩壊対策事業	351010	急傾斜地崩壊防止施設を設置することにより、崩壊による災害から住民の生命を守り、国土の保全に資することを目的に県事業により実施する。	県事業であり、引き続き協議し計画的に実施を求める。	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
災害に備えた安全・安心な暮らしの実現	2-4-1 災害の未然防止対策の推進	(2) 地すべり対策事業	351020	地すべり防止区域における、地すべり対策工事を行い、国土の保全及び地域住民の生命・財産を守ることを目的に、県事業により実施する。	調査業務を継続。	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-
		(3) 砂防事業	351030	土石流等の防止のため、砂防堰堤等を設置し、流域の地域住民の生命・財産を守り、治山・治水を目的に県事業により実施する。	県事業であり、引き続き協議し計画的に実施を求める。	A	1.今後も継続して取り組む	建設課	-
		(4) 風水害などにより被災した民地の復旧を支援する仕組みを創設するための調査研究	-	風水害などにより被災した民地の復旧を支援する仕組みを創設するための調査研究	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	危機管理課	-
	2-4-2 防災・消防体制の確立	(1) 災害派遣医療チーム(DMAT)設置(特別会計)	221080	大規模災害や多傷病者が発生した現場に急性期に活動する、医師・看護師及び業務調整員で構成した災害派遣医療チーム(DMAT)を設置する。今年度はDMAT設置に必要な医療機器等を購入し派遣体制の整備を行う。	災害派遣医療チーム(DMAT)は、平成28年12月5日に奈良県から指定病院となり協定しています。また、奈良県内の災害訓練にも参加しています。	A	1.今後も継続して取り組む	市立病院	-
		(2) 宇陀市防災行政無線整備事業	352010	合併前の4自治体がそれぞれ整備した防災行政無線(同報系4波・移動系4波)を国が推進するデジタル化により、同報系1波・移動系1波に統合整備する。	簡易中継局、移動系中継アンテナ同報系屋内受信機取付整備事業完了。	B	2.取組みを終了した	危機管理課	-
		(3) 自主防災組織結成設立推進事業	352020	大規模災害発生時の共助の機能強化・充実と、平時の地域の自主的な防災活動促進のため、自主防災組織の結成を推進する。	設立組織への講話・訓練等の支援を実施。組織率74.53%	B	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
		(4) 自主防災組織資機材購入補助事業	352030	自主防災組織が整備する資機材の購入に要した費用の一部を補助し、組織の充実を図る。	交付団体3団体	B	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
		(5) 消防団機庫等建設事業	352040	宇陀市消防団の消防力維持強化と効率的な組織体制づくりを目的とした組織再編計画に基づき、機庫等の建設を行う。平成27～28年度は大宇陀第3分団整備予定。	榛原第1分団機庫設計完了。	B	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
		(6) 防災・防犯情報等メール配信事業	352050	防災行政無線を補完するものとして、宇陀市から携帯電話を通じて火災情報や災害予報、防犯情報等を配信する。	火災情報、気象情報、防犯情報等を配信。教育メールとの統合を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
		(7) 防災意識啓発事業	352080	防災に関する知識の向上と防災意識の高揚を図るため、うだちゃん、広報うだを利用した広報活動、防災訓練や自主防災組織の育成、ホームページ等によるPRなどの啓発活動を展開する。	各種防災訓練等の支援	B	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
		(8) 小型動力ポンプ付積載車購入事業	352110	宇陀市消防団組織編成の方針に基づき、毎年1台消防車両を更新する。	小型動力ポンプ付積載車を2台購入し消防団へ配備	A	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-
(9) 新基準・消防団活動服更新事業		352160	平成26年2月の規制基準改正に伴い、当市消防団の活動服においても機能性と活動時の安全性の向上が必要であるため更新する。	新基準消防団活動服を更新(上着584、ズボン381)	B	2.取組みを終了した	危機管理課	-	
(11) 防災行政無線システム維持管理事業		352180	災害時における迅速かつ円滑な情報収集及び情報伝達手段を確保するため、防災行政無線システムの機能を常に良好な状態で維持するための保守業務を委託する。	防災無線整備がH29年度整備完了に伴い、平成30年度より保守契約を締結するため、内容の調整。	A	1.今後も継続して取り組む	危機管理課	-	
地域資源の保全及び産業と連携した活用	3-1-1 文化財の保護・活用	(1) 発掘調査等事業	531010	文化財保護法に定める埋蔵文化財包蔵地に関し、個人の開発行為に伴う発掘調査、保存のための範囲確認調査及び出土遺物の整理並びに付随する事務事業。	遺物整理・鬼瓦の模型制作	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
		(2) 文化財保存修理等補助事業	531020	市内の指定文化財の管理、修理、復旧、公開、調査その他文化財の保存及び活用等の経費並びに防犯上緊急の措置を講じるための経費の補助事業。	指定文化財の保存修理・設備点検等への補助金交付。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
		(3) 文化財課ボランティア養成講座事業	531050	貴重な文化財の保護と活用を図り、さらに文化財を後世に引き継いでいくため「文化財ボランティア」養成講座を開講する。	8回の養成講座を開催。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
		(4) 森野菜草園保護事業	531060	国史跡に指定されているが、建物の老朽化、畑の荒廃が懸念されているため、適切な保存・管理・整備を行う経費の補助事業。	桃岳庵改修工事実施設計書作成。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
地域資源の保全及び産業と連携した活用	3-1-1 文化財の保護・活用	(5) 町家公開活用施設整備事業	531070	松山地区の入口に建つ町家を修理し、来訪者への情報発信となる拠点施設の整備事業。	補助金が交付されなかったため延期。	D	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(6) 文化財愛護団体支援事業	532010	文化財愛護団体、文化財保存団体への補助事業。	民俗文化財の保存活動団体に補助金交付。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
	3-1-2 歴史・文化資源の整備と充実	(1) 街なみ環境整備事業	533020	松山重伝建地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するため、ゆとりや潤いのある生活を重視した街なみ形成を図る	松山地区の道路美装化工事。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(2) 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	533030	重要伝統的建造物群保存地区保存事業として、歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・修景の補助及び防災施設等の整備を行う。	歴史的建造物の町家改修費補助金交付。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(3) 史跡宇陀松山城跡の登山道整備事業	533040	松山城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とする。	整備工事を完了。	B	2.取組みを終了した	文化財課	-	
		(4) 史跡宇陀松山城跡保存整備事業	533050	松山城跡の保全整備を進め、当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とする。	災害により被災したため、保存整備事業一時中止。	C	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(5) 史跡宇陀松山城跡 春日門周辺環境整備事業	533070	重要伝統的建造物群保存地区でもある宇陀松山城跡春日門周辺環境整備、宇陀松山城跡及び重要伝統的建造物群保存地区のガイダンス施設の整備を行う。	補助金が交付されなかったため延期。	D	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(6) 大宇陀福祉会館活用事業	533080	平成8年度の公園整備事業に伴う発掘調査で、飛鳥時代の遺跡跡が発見され、建造物等が復元された。建設後約20年が経過し、木造部分が修繕の時期を迎えており、老朽化した部分について修理を行い、来訪者の安全確保を行う。	町づくり協議会と施設整備後の活用方法を協議	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
		(7) 阿騎野・人麻呂公園復元建物屋根等修理	533090	大宇陀福祉会館は明治36年に松山町役場として創建された奈良独特の近代建築の特色を持った建築物である。創建から110年が経過し雨漏り、不同沈下による床の傾き、壁の剥落や亀裂が進行しており、大規模な改修時期に来ている。建物や周辺整備を行い、公開活用を前提とした改修工事を行い、松山地区の地域づくりの拠点整備として活用する。	修理を完了。	B	2.取組みを終了した	文化財課	-	
		(8) 大宇陀福祉会館保存事業	533100	-	改修工事実施設計書作成。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-	
	3-1-3 宇陀市産物の利用促進	(1) 宇陀市産木材利用促進事業	515010	市内で生産された木材の利用を促進するため、宇陀市産木材購入費の補助を行う。	内装材11件、構造材6件の利用を促進する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-	
		(2) 県産材生産促進事業	515020	搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う事業主体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を補助する。	1,850m3の間伐材を搬出する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-	
	地場産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成	3-2-1 新規就農者等の支援	(1) 新規就農者確保事業	512010	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保する。	新規就農者7名に給付金の給付を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
			(2) 機構集積協力金事業	512020	地域農業マスタープランに位置づけられた地域の中心となる経営体に農地が集積されることが確実に見込まれる場合や、中心となる経営体の農地を連担化させようとする場合等に協力する者に対して協力金を交付する。	対象者なし	D	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
(3) 経営体育成支援事業			512030	経営規模拡大を目指す意欲ある農業経営体に対して安定した経営が図られるよう必要な支援を行う。	融資主体型で1経営体に支援を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-	
3-2-2 雇用の創出		(1) 育児をしながら就業できる環境づくり	-	テレワークの推進により、都市部から人の流れをつくり、子育て世代や介護世代の労働ニーズを促す。また、テレワークの推進により、企業誘致や都市部へ地場産業の発信を行い、ブランドの構築を図る。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	産業企画課	-	
		(1) 産官学金連携	-	歴史的及び地名等のつながりによる他都市との市民、職員の相互交流を深め、最終的には姉妹都市提携を目指す	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	企画課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
基幹産業である農林業の再生・活性化	3-3-1 農業生産基盤の整備と農地の保全	(1) 中山間地域直接支払事業	511010	-		32集落協定に対し交付金を交付した。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	5-1-2(2)
		(2) 多面的機能支払交付金事業	511020	-		共同・向上活動15活動組織、共同活動13活動組織に対し交付金を交付。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	5-1-2(1)
		(3) 有害鳥獣防除施設設置事業	511040	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。		市内全域で約18.6km分の設置へ補助金を交付する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(4) 有害鳥獣防除ライセンス取得支援事業	511050	地域ぐるみで防除対策を講じる目的で、有害鳥獣防除ライセンス取得者に対する補助事業。		狩猟免許新規取得者5名、登録更新者102名へ補助金を交付する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(5) 有害鳥獣駆除事業	511060	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、猟友会の駆除事業に補助を行う。		市内全域で1,390頭分の駆除へ補助金を交付する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(6) 有害鳥獣駆除個体処分支援事業	511070	自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会及び農家組合(共同取組)に対して補助金を交付する。		事故死した86頭の火葬処理を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(7) 有害鳥獣駆除集落取組支援事業	511080	自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会及び農家組合(共同取組)に対して補助金を交付する。		事業の申請なし。	B	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(8) 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業	511110	宇陀市・名張市連携による鳥獣害被害の防止を目的に協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。		広域対策協議会が実施する事業に対して負担金を交付する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(9) 土地改良施設維持補修事業	511130	国庫補助土地改良事業の対象とならない小規模な施設を対象とし遊休農地の発生防止、活用等のための営農条件整備を実施する。		農道への交通安全施設工事を実施する。	B	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(11) 県営一般農道整備事業	511160	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営事業で実施する。		奈良県へ分担金を支払う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(12) 農地中間管理事業業務委託	511180	中間管理事業に関する業務のうち、申込書の受付、各種リストの作成及び関係書類の収集のほか、農用地利用配分計画案の作成等をおこなう。		農地現地確認実施者用の事務用品の購入を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		農林業経営・生産・流通体制の強化	3-3-2	(1) 駅前物産館整備事業	514010	-		事業用地の一部を取得	A	1.今後も継続して取り組む
(2) 各直販所連携事業	514020			各直販所の連携を図ることにより農産物等の販売網を広げる。		産業支援機構の推進体制の中で検討を行う	D	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
(3) 宇陀市水田活用振興作物助成交付金事業	514030			宇陀市の黒大豆、大納言小豆の生産拡大を図るため、生産者に対し復興作物助成金を交付するとともに、産地化・ブランド化させ6次産業化を目指す。		12.68haの作付け、52名に対して助成金の交付を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	3-3-3(1)
(4) 南部・東部振興物産販売促進支援事業	514050			市内の名産品等を買上げ、県外において販売を行い、商品のPR及び地域所得の向上を目指す。		市内の物産販売についての取組みをおこなった。	B	2.取組みを終了した	産業企画課	-
(5) 美しい森林づくり基盤整備交付金事業	516010			森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対して、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。		94.78haの間伐及び、3,620mの作業道を整備する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
(6) 市の施設や公民館、温泉施設や銭湯などにまきボイラーやペレットボイラーの導入を促進するための政策立案	-			市の施設や公民館、温泉施設や銭湯などにまきボイラーやペレットボイラーの導入を促進するための政策立案		【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	農林商工部	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
基幹産業である農林業の再生・活性化	3-3-2 農林業経営・生産・流通体制の強化	(7) 薬草栽培調査研究事業	-	薬草栽培の品種を増やしていくための調査研究	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	農林商工部	-
		3-3-3 付加価値の高い農産物づくりの推進	(1) 宇陀市水田活用振興作物助成交付金事業	513020	宇陀市の黒大豆、大納言小豆の生産拡大を図るため、生産者に対し復興作物助成金を交付するとともに、産地化・ブランド化させ6次産業化を目指す。	12.68haの作付け、52名に対して助成金の交付を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課
	(2) 環境保全型農業直接支援助成事業		513030	地球温暖化防止や生物多性保全に積極的貢献することが重要となっており、環境保全の高い営農活動に取り組む販売を目的として生産を行う農業者等に対して直接支払う。	有機JAS認証の土地所有者を中心に12人へ補助金の交付を行う。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
	(3) 機能性野菜・食品取得事業		-	薬草のまち宇陀として、機能性のある食品を開発し、付加価値をつけ、ブランド化を図る。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	産業企画課	-
	(4) 機能性農産物生産支援事業		-	栽培方法によって、農産物に含まれる薬効成分を高める栽培方法を構築し、付加価値をつける	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	産業企画課	-
	3-3-4 森林の保全と多面的利用の促進	(1) 宇陀市里山広葉樹林再生事業	517010	人家から50m程度までの杉、檜を中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木の植栽に対する補助。	広葉樹林への転換2件(室生・大宇陀)	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(2) 森林整備地域活動支援交付金事業	517020	-	事業の申請なし。	D	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(3) 森林環境税施策放置林整備事業	517030	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林の内、10年以上間伐による手入れのない施策放置林について、森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。	施策放置森林の強度間伐を89.29ha実施する。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	-
		(4) 宇陀市産木材を活用した市営住宅建設	-	宇陀市産木材を活用した市営住宅の建設、建て替えを進める。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	公営住宅課・農林課	-
	商工業の再生・活性化	3-4-1 商店街の活性化支援	(1) 榛原駅周辺の総合施設整備事業	521010	近鉄榛原駅を中心とする市街地の道路整備を行い、宇陀市の玄関口としてふさわしい環境づくりに資する。再掲(331010)	事業用地の一部を取得	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課
(2) ウッピー商品券発行事業			522010	定住促進奨励金制度、住宅リフォーム助成制度、住宅用太陽光発電システム設置補助制度、宇陀市産木材利用促進助成制度等に対し、市内流通商品券を発行し購買活動の増進、内需振興を図る。	商品券発行額000円、市内における消費を喚起し地域経済の活性化が図れた。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
(3) 宇陀商工会支援事業			522020	商工業の振興を図るため、商工会が行う事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付する	商工業の振興を図るため、商工会が行う事業に対し補助金交付	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
(4) プレミアム商品券発行事業			522030	商工業の振興を図るため、商工会が行う事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。	プレミアム商品券発行額54,811,000円、換金額54,159,450,000(換金率99.78%)、1,063人の商品券利用があり、市内における消費を喚起し地域経済の活性化が図れた。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
3-4-2 地元事業所活動の促進・支援		(1) 中小企業資金融資保証事業	523010	市内の中小企業者を対象に、事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を、奈良県信用保証協会と金融機関の協力を得て行い、資金調達の円滑化、企業の合理化及び振興発展を図る。	個人20件・法人9件、計29件の事業者が利用し68,800,000円が融資された	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
		(2) ナシガ谷前処理場改修事業	523020	毛皮革工場団地の排水の前処理を実施することにより、公共用水域の水質の保全を図り、市民の快適な生活環境を確保するため、老朽化する設備を改修する。	長寿命化計画による設備の改修で、毛皮革工場団地排水を公共下水道基準値以内の数値を維持している	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
		(3) ナシガ谷前処理場管理運営事業	523030	毛皮革工場団地の排水の前処理を実施することにより、公共用水域の水質の保全を図り、市民の快適な生活環境を確保する。	毛皮革工場団地排水の一次処理により、室生ダム水源である宇陀川並びに芳野川の水質保全を確保している	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
		(4) 毛屑・ニベ処理組合運営委託事業	523040	毛皮革産業の発展と、周辺地域住民の環境保全のため、工場団地内に毛屑・ニベ処理施設を設置し、その管理運営を指定管理者として同組合に委託する	毛皮革産業の発展と周辺地域住民の環境保全のため、工場団地内に毛屑・ニベ処理施設を設置し、その管理運営を指定管理者として同組合に委託している	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
商工業の再生・活性化	3-4-2 地元事業所活動の促進・支援	(5) 毛皮革産業振興支援事業	523050	毛皮革産業の振興を目的に設立された毛皮革産業振興協議会に対する補助事業。	毛皮革振興協議会に対し補助することで、地場産業である毛皮革産業の魅力ある商品の開発と販路拡大を図っている	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
		(6) 商品販路拡大補助金事業	523080	商品の販路拡大を目的とした物販・展示会やPR用パンフレットの製作など必要な経費の一部を補助し、販路拡大及び6次産業化の推進を図る。	概ね計画どおりの業務が遂行できた。	A	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(7) 特産品・名産品等PR事業	523090	市内特産品・名産品の情報を市内外に発信することで、市のPR並びに地域所得の向上、6次産業化の推進を図る。	概ね計画どおりの業務が遂行できた。	A	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(8) 中小企業等施設改修・設備投資補助金	523100	市内の事業所等の行う施設の改修や設備投資に対し、補助を行うことで産業の活性化を図り、グリーンツーリズム等の事業者の拡大と安心して働ける職場環境を整え、雇用の促進につなげていく。	概ね計画どおりの業務が遂行できた。	A	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(9) 商品企画支援事業	523110	市内の農産物や加工品等を大都市圏内の百貨店や大手スーパー等と継続して取引を行っていくため、商品企画やパッケージ等の開発、様々な事業者の相談等、販路を見出す専門家を一定期間雇い入れ、産業の活性化、地域所得の向上を図る。	概ね計画どおりの業務が遂行できた。	B	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(11) 中小企業等施策支援事業	-	補助金額が大きい国等の補助事業に対して応募する際の資料の作成方法や作成補助、ノウハウを伝授し、国の補助金の取得を目指す。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	産業企画課	-
	3-4-3 新たな産業の展開	(1) 企業立地促進のための優遇制度	524030	市内の企業立地を促進するため、必要な奨励措置等を講ずることにより、地域企業の振興と雇用機会の拡大を図る。	企業誘致にまでに至っていない状況である。	C	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(2) 都市計画の見直し	524040	都市計画法の改正によって、県より市町村への権限移譲について、宇陀市の都市計画を随時見直しを行う。 平成28年より都市計画道路の見直し。	立地適正化計画策定作業	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり推進課	2-1-1(1)
		(3) 創業支援助成事業	524050	奈良県が行う創業支援資金事業と連携し、市内で創業を行う事業者に対し借入額の一部を助成し、市内産業の活性化、空店舗の活用を図る。	H29年度は申請がなかった。	C	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
		(4) 地方創生総合事業「薬草を活用したまちづくり事業」	524060	大和トウキ等の生産・販売体制を確立していくことで、農業の活性化、ウェルネスシティ宇陀を目指す。	概ね計画どおりの業務が遂行できた。	A	1.今後も継続して取り組む	産業企画課	-
	観光戦略の推進	3-5-1 観光基盤の維持・整備	(1) 観光案内板等整備事業	541010	老朽化した案内板等の整備や観光トイレの整備を行い、観光客へのホスピタリティの向上に努め、観光地としての魅力向上を図る。	老朽化した案内板等の整備を行い、観光客へのホスピタリティの向上と観光地としての魅力向上を図っている	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課
(2) 観光誘客案内促進事業			541020	近鉄榛原駅前観光案内所に観光案内員を配置し、的確な案内及びPRを行う。また、英語版パンフレット等の作成、英語版SNSでの情報発信など、外国人観光客受け入れの体制を整える。	観光客への案内や観光地のPRを行う案内員を配置。利用者数は年々増加しており、前年度に比べ7%増加	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
(3) 宇陀市観光基本計画作成事業			541030	宇陀市にある歴史文化・自然環境の等特色ある観光資源を活かした観光基本計画の構築により、多様化する観光ニーズに応えるとともに地域の活性化を図る。	H29年度策定	B	-	商工観光課	-
(4) レンタサイクル推進事業			541040	宇陀市を走るレンタサイクル事業の魅力アップの為にレポート造りの事業を行う。	未執行	D	-	商工観光課	-
(5) カエデの郷ひらら内トイレ改修工事負担金			542040	-	H28年度改修完了	B	2.取組みを終了した	商工観光課	-
(6) カエデ植樹推進事業			543040	約1,200種類、3,000本の世界的にも類のない収集量を誇る奈良カエデの郷「ひらら」を中心としたカエデの植樹推進として、各イベントや事業の開催時に各種カエデの苗を参加者、施設利用者等に配布し、色彩豊かな宇陀市を目指す。	宇陀市の財産であるカエデを市内外にPRするため宇陀市イベント時に参加者に配布しPRを行った。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
(7) 道の駅室生観光案内修繕			543050	-	H30～実施	D	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
観光戦略の推進	3-5-1	観光基盤の維持・整備	(8) 自明観光トイレ給水引き込み工事	543060	-	H27年度改修完了	B	-	商工観光課	-
		地域資源を活かした観光・交流の創出	(1) 多世代交流プラザ管理運営費	262020	日常の施設維持管理は指定管理者が行っているが、施設の老朽化が進んでおり、指定管理者と調整をし、施設の適切な管理を実施する。	温泉利用者 138,888人	D	2.取組みを終了した	健康増進課	-
	(2) 記紀万葉推進事業		542020	記紀万葉プロジェクト推進庁内会議を立ち上げ、奈良県とも連携し、記紀万葉集を関連づけた事業を展開する。	記紀万葉プロジェクト推進庁内会議を設置し、市内でエクスカッション・講演会等の実施や市外での積極的なPR活動、部門別パンフの作成や記紀万葉集を関連づけた事業を展開した。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(3) 着地型観光推進事業		542030	宇陀商工会と連携し、宇陀地域における地域資源を活用した着地型観光の推進を行う。	宇陀商工会と連携して着地型観光ツアーを実施。また団体旅行誘致促進事業を通じ、観光旅行者のバスツアー誘致が図れた	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(4) 宇陀四季彩推進事業		542050	全国的にも知名度がある室生寺を拠点とし、市内観光資源と結びつける。観光資源と自然環境を活かし、花の植栽や保護により将来を見据えた彩り美しい宇陀の観光地を形成する。女人高野と称される室生寺のイメージを市内全体に広げ、女性をターゲットにした着地商品の造成を図る。	室生寺等へ植栽関連事業をおこない、室生寺門前地域での周遊企画、室生寺夜間ライトアップ事業等を行った。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(5) まちなか食べ歩きチケット造成事業		542060	平成29年度は室生寺と門前町地区に重点をおき食べ歩き冊子を作成し、参加店舗の活性化新商品づくりを行う。	室生寺門前地域での周遊企画。全門前経営者に参画をお願いし、周遊するグルメチケットを作成した。	B	2.取組みを終了した	商工観光課	-	
	(6) 宇陀温泉郷PR事業		543010	天然温泉のある「保養センター美榛苑」や「大宇陀温泉あきののゆ」などの温泉施設が連携してPRを図る。	宇陀の地に位置する温泉施設の広域的な情報を共有し、連携して情報発信することにより誘客を促進している	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(7) 保養センター事業(企業会計)		543020	天然温泉のある「保養センター美榛苑」は観光の拠点施設として、市内外からの誘客を図る。	天然温泉のある「保養センター美榛苑」は観光の拠点施設として、市内外からの誘客を図る	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(8) 保養センター美榛苑施設改修事業		543030	源泉地ポンプ修理、本館温水ヒーターの改修。	本館の浴室の天井の一部更新と重油配管修繕	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
	(9) 市民マラソン大会事業		551030	生涯スポーツの促進と市内外からの参加を募り、スポーツイベントの交流を推進する市民マラソン大会の開催の補助事業。	実行委員会への補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	4-4-1(4)	
	(11) 「アートウィークin菟田野」実行委員会事業負担金		551050	-	-	平成27、28年度の2ヶ年で終了	C	2.取組みを終了した	まちづくり支援課	-
	(12) 登山道・ハイキングルート案内看板等整備事業		551060	スポーツツーリズム(ハイキング、ウォーキング、登山等)による誘客を図る為、統一的な看板の整備を行う。	未実施	D	-	商工観光課	-	
	3-5-3	観光誘客の活性化	(1) 大和高原(東吉野)観光振興協議会負担金	544010	奈良県東部振興計画に基づき、観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークの形成のため、「大和高原観光振興協議会」が設置され、観光客の来訪増加と地域の活性化を図る。	観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークを形成し、観光客の来訪増加と地域の活性化を図っている	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	6-3-1(4)
			(2) 団体旅行誘致促進事業	544020	市内への観光客の誘致拡大を図るため、市内の宿泊施設及び観光施設等を利用した団体旅行を実施する事業者へ助成金を交付する。	41業者が利用し、日帰り事業92台、宿泊旅行バス3台、6860人が来訪	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
(3) 広域連携観光事業			544030	宇陀市近隣の6市村と広域連携DMOを設立し、圏域内の観光PR、観光商品造成等観光まちづくりを行う。	東大和西三重観光連盟、中南和観光振興協議会、桜井宇陀広域連合など、近隣市町村と効果的な観光交流、振興をはかるための様々な取り組みを行っている。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-	
(4) 宿泊事業者誘致事業及び公園整備事業			-	○未利用の市有地の活用及び既存施設(総合運動場等)と一体的に連携した土地利用の促進。 ○宿泊施設「保養センター美榛苑」に代わる民設民営での運営形態による宿泊観光客の増加をはかる。 ○周辺地域へのアクセス等の整備による利便性の向上	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	宿泊施設用地・公園整備課	-	
(5) インバウンド観光受入状況調査事業			-	外国人観光客向けのWi-Fi導入に向けた調査研究	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	農林商工部・商工観光課	-	

<進行管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
人権を大切に する共生のま ちづくりの実 現	4-1-1 人権尊重の社 会づくり	(1) 各種人権集会、研修会の開 催	411010	各種人権集会の開催、地域社会における人権教育の推進を行う。	4/11「人権を確かめあう日」市民の集い(116人)、7/9差別をなくす市民集会(208人)、12/3人権を考えるつどい(118人)を開催。人権セミナー(指導者養成講座・4回・受講者延人数:115人)を開設。	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
		(2) 人権相談の充実	412010	人権相談の開催、相談体制の充実と関係機関相互のネットワークの充実を図る。	人権擁護委員による人権相談を毎月2回、6月・7月・12月に特設相談を開設した(相談延件数:8件)。また、人権推進課の窓口や電話での相談業務を行った。	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
		(3) DV相談事業	425010	専門の女性相談員により相談業務を毎月1回実施する。	女性カウンセラーを配置し、毎月1回相談事業を実施。また人権推進課にて、窓口及び電話による相談に対応。(相談延件数:6件)	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
	4-1-2 男女共同参画 の推進	(1) 男女共同参画講演事業	421010	男女共同参画講演の開催をとおり、男女共同参画社会実現の理解を深める。	3月4日(日)宇陀市文化会館で男女共同参画集会を開催(643人)。人権擁護委員によるプレゼンテーションの後、講演会を実施。講演の内容は好評であった。	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
		(2) 男女共同参画計画策定事業 (第2次)	421020	第1次の計画が平成29年度で終了するため、市民意識調査を行い、計画を策定する。 ※平成28年度繰越事業として平成29年度に計画策定を行う。	男女共同参画計画(第2次)を策定した。	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
		(3) 政策形成・意思形成の場へ の女性の参画推進	422010	市の施策に女性の意見や考えを反映していくため、全庁で行政委員会や審議会等での女性委員の登用を進める。	関係部署に各審議会等への女性委員の積極的登用を要請(審議会等18.04% ※平成28年度末)	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
		(4) 市女性の会支援事業	423020	男女共同参画の地域づくりを進めていくために、地域のリーダー的役割を果たせる女性の育成を行っている女性の会の活動を支援する。	女性の会への補助金交付。自主事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り 組む	生涯学習課	-
		(5) 女性へのエンパワメント促進 及びチャレンジ支援	424010	女性のエンパワメントの促進と支援、女性の能力が十分に発揮でき、さまざまな分野へ積極的にチャレンジできるよう関係機関と連携し情報提供等を行う。	女性の就職サポートセミナーを、1/23・1/30の2日間開講(参加者数:26名)	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課	-
	4-1-3 家庭と仕事・地 域活動のバラ ンスがとれた生 活への支援	(1) ワーク・ライフ・バランスの推 進	423010	家庭と仕事や地域社会活動等の両立を支えるため、育児や介護の支援、育児休業・介護休業制度の普及等へ向けた啓発を推進する。	男女共同参画期間での啓発活動。各種集会での託児所の開設(人権推進課)	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課・人事課	4-1-3(2)
		(2) ワーク・ライフ・バランスの推 進	423010	家庭と仕事や地域社会活動等の両立を支えるため、育児や介護の支援、育児休業・介護休業制度の普及等へ向けた啓発を推進する。	職員及び職員の配偶者の出産時に、各種届出の案内や育児休業等の制度の周知、職員の家族の病気等の場合、看護休暇や介護休暇等の制度の周知を行っている。また、年次有給休暇やリフレッシュ休暇の取得を促進すると共に、特に7月～9月には節電対策も兼ね、毎週水曜日のノー残業デーに金曜日も加え、18時までの定時退庁を促し身心のリフレッシュを図っている。(人事課)	A	1.今後も継続して取り 組む	人権推進課・人事課	4-1-3(1)
子どもたちの 教育環境の充 実	4-2-1 学校教育内容 の充実	(1) 教育センター事業	431020	教職員の研修・教育相談・適応指導教室・調査研究の4本柱を充実させ、本市義務教育の発展をめざす。	教職員研修及び研究論文等を募集し知恵袋として刊行	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-
		(2) 教育相談事業	431030	発達や不登校についての保護者や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行う。	週2回臨床心理士による相談、発達検査を実施	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-
		(3) 適応指導教室(はばたき)	431040	不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。	週2日の開室	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-
		(4) 通級指導教室(ほほえみ)	431050	通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、それぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。	該当児・保護者・教職員に適切で専門的な指導実施	A	5.取組内容 や目標値等 に見直しが必要	教育総務課	-
		(5) 安全安心メール配信システム 運営事業	431060	保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象に必要な情報を電子メールで配信する。	保護者・教職員・事務局職員を対象としたメール配信システムを構築	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-
		(6) 外国青年招致事業	431070	市内4中学校にALTを配置し、英語教育の普及を図り、国際的視野を広める。	中学校に2名を派遣	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-
		(7) 外国語活動指導助手設置事 業	431080	外国語の授業を充実させ、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出するため、宇陀市独自でALTを設置する。	幼稚園・保育所・小学校・子育て支援センターに2名を派遣	A	1.今後も継続して取り 組む	教育総務課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
子どもたちの教育環境の充実	4-2-1 学校教育内容の充実	(8) 学校教育支援事業(ようこそ！サイエンスラボ)	431090	理科教育の振興のため、県内のスーパーサイエンス・ハイスクールの出前授業とJAXA宇宙航空研究開発機構の「宇宙教育センター」による、宇宙を教材とし学校と連携し魅力的な授業をつくる「学校教育支援事業」の活用を行う。	青翔高校出前授業、JAXA学校支援事業を実施	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(9) スクールカウンセラー設置事業	431100	小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置し、いじめ、不登校等の未然防止・解決を図るとともに、児童生徒の問題行動に的確に対応する。	小中学校にスクールカウンセラーを巡回派遣	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(11) 遠距離通学対策事業	431120	中学校の生徒に対し通学費の一部を補助することにより、保護者の負担を軽減し、義務教育の円滑な運営に資する。	通学距離が5kmを超える生徒に対し通学費の一部を援助	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(12) めくもり修学奨励資金支給事業	431130	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金を支給する。	就学困難な生徒に対して入学支度金の支給	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(13) 学びの広場UDAプラン	431140	平成25年度までの「学力向上プラン」を礎に、教員の授業力向上を図る「教員支援プラン」、学校独自の課題を見出して解決の実践を行う「課題解決プラン」の二つを柱に小中学生の基礎学力の向上を目指す。	H28より「学びの創造UDAプラン」2年間の学力向上プロジェクトとして実施	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	教育総務課	-
		(14) 子どもの夢を育てる事業「夢の教室」	431150	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を小学校5年生を対象に開催し、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える。	市内小学校5年生に実施	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	教育総務課	-
		(15) 学力・学習状況調査	431160	児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教科(国語・算数・数学)学力と生活・学習意識との相関から課題を明らかにし、教育指導に活かすことで、市内児童生徒の学力の向上を図る。	小学校5年生・中学校2年生対象で実施	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(16) 子どもたちの夢を育む育成事業	431170	幼児の情操教育の一環として市内7カ所4、5歳児が集まり、保護者とともに音楽に親しむ機会を設け、幼児の豊かな感性や表現力、優しさや想像力を養うことの一助とする。	市内公立幼保3～5歳児が音楽会を楽しむ	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(17) プログラミング教育推進事業	-	小・中学校の連携だけでなく、地域の高等学校や地域と連携しながら、宇陀市として特色のあるプログラミング教育を推進する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	教育総務課	-
	4-2-2 学校の教育環境の充実	(1) 小学校施設の耐震補強事業・大規模改修	432010	榛原小学校校舎耐震補強・大規模改修。 榛原東・榛原西小学校体育館耐震補強。 室生西小学校体育館改築・校舎大規模改修。	榛原小学校体育館改築。 榛原東小渡廊下耐震改修・榛原西小学校舎児童用便所改修設計実施	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課	-
		(2) 中学校施設の耐震補強事業・大規模改修	432020	大宇陀中学校校舎耐震補強・大規模改修。 室生中学校体育館耐震補強。 榛原中学校校舎耐震補強。	榛原中学校校舎大規模改修工事実施	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	教育総務課	-
		(3) 菟田野中学校大規模改修事業	432050	菟田野中学校校舎・体育館・食堂棟等の大規模改修。	菟田野中学校大規模改修工事完了	B	2.取組みを終了した	教育総務課	-
		(4) 室生中学校校舎等改修事業	432060	-	平成27年度で事業完了	B	2.取組みを終了した	教育総務課	-
		(5) 市内中学校デジタル教科書導入事業	432110	-	数学・英語・理科・地理・歴史・公民のデジタル教科書の導入	B	2.取組みを終了した	教育総務課	-
		(6) 学校給食地産地消促進事業	432120	-	学校給食をとおして地産地消の促進を図り「食育」を推進する	A	1.今後も継続して取り組む	学校給食センター	-
		(7) 教育環境の整備・充実	-	学校給食センターの建設	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	学校給食センター	-
	多様な学びの場の整備・充実	4-3-1 生涯学習環境の充実	(1) 図書館機能拡充事業	441010	地域間格差の解消と利用の促進を図り、保健センター等との連携により、ブックスタート事業の拡充を図り、子育て中の保護者に読書の重要性を周知する。 学校図書システムを通して学校との連携を深める。 遊休施設等を利用し、新図書館を整備することにより、市民のニーズに対応できる図書館をつくる。	計画通り実施できた	A	1.今後も継続して取り組む	中央図書館

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
多様な学びの場の整備・充実	4-3-1 生涯学習環境の充実	(2) 各種講座・教室事業	441030	個人の生きがいづくりや楽しく学ぶ学習活動に加えて、地域社会全体の活性化につなげていくための事業。	計画通り実施できた。	A	1.今後も継続して取り組む	中央公民館	-	
		(3) 市美術展事業	441040	市民の美術に対する関心を高め、芸術文化に親しみ鑑賞する機会を提供する。	庁舎内で美術展覧会を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
		(4) 地域公民館活動支援補助事業	441050	地域ぐるみでの活発な生涯(公民館)学習活動を目的とした、地域公民館活動に対する補助事業。活動補助金の見直し。 ※平成29年度をもって廃止。	計画通り実施できた。(平成29年度で廃止)	B	2.取組みを終了した	中央公民館	-	
		(5) 市文化協会補助事業	441060	市文化協会に所属する団体に対する補助事業。	文化協会への補助金交付。自主事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
		(6) 寄贈書管理事業	441090	ワールドメイプルパークの一部に、寄贈資料の閲覧書架を設置し、図書の有効活用を図る。	計画通り実施できた	A	1.今後も継続して取り組む	中央図書館	-	
		(7) 榛原総合センター大規模改修工事	441100	宇陀市子ども読書活動推進計画を策定し、平成27年度から5年間を第1期として、幼稚園・小中学校との連絡会を開催し、図書館と学校との連携をスムーズに運営することにより、子どもたちの学力向上に寄与することを目指す。	計画通り実施し、完了した	B	2.取組みを終了した	企画課	-	
	4-3-2 地域の教育力の醸成	(1) 子ども活動支援事業	442010	学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築する。	子ども会への補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
		(2) 子どもフェスタ事業	442020	子どもたちがスポーツやレクリエーションを通じて相互交流を深める事業。	実行委員会への補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
		(3) 青少年育成支援事業	442030	青少年の健全な育成を願い、その保護育成と指導に関する総合施策の樹立、実践運動の強化を図るための青少年健全育成協議会の活動を支援する。	青少年健全育成協議会への補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
	スポーツ・芸術・文化の振興	4-4-1 スポーツ活動の支援・充実	(1) 体育施設長寿命化事業	451010	老朽化した施設を、市民ニーズに合わせて改修する。 ※温水プール等の大規模改修については、「防災公園及び宿泊者誘致プロジェクト」の中で検討していく。	温水プールの熱源機器2台の入替と、施設設備、器具の修繕を実施した。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-
			(2) 市民スポーツ大会事業	451020	1市民1スポーツを目指し、スポーツ大会を開催する。	体育協会を通じて、活動に対し補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-
			(3) 総合型地域スポーツクラブの育成	452010	市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブの育成を行う。	総合型知育スポーツクラブの育成のサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-
			(4) 市民マラソン大会事業	452020	生涯スポーツの促進と市内外からの参加を募り、スポーツイベントの交流を推進する市民マラソン大会の開催の補助事業。	1500人の参加により大会を開催	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	3-5-2(9)
(5) ラジオ体操事業			452030	「いつでも・どこでも・だれも」ができるラジオ体操を通じて、市民が生きがいを感じ、豊かな生活を送れるまち、ウェルネスシティ宇陀市の実現を目指す。	700人の参加により実施。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
(6) スポーツ推進委員			452040	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導助言を行う。	スポーツ推進委員会による各地域への指導を実施。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
(7) 各種スポーツ団体支援			452050	スポーツを通じ青少年の心身の健全な育成を行うスポーツ少年団を支援する。	スポーツ少年団等への補助金交付。事業のサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	
(8) 宇陀市駅伝チャレンジ大会事業			452060	大会を通じて子どもの健全育成を図るとともに、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識を醸成する。	14チーム106名の参加があり、計画通り実施した。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-	

＜進捗管理基準＞A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
スポーツ・芸術・文化の振興	4-4-1 スポーツ活動の支援・充実	(9) 市体育協会補助事業	452070	市体育協会に対する補助事業。	体育協会への補助金交付。事業をサポート。	A	1.今後も継続して取り組む	生涯学習課	-
		4-4-2 芸術文化環境の充実	(1) 国民文化祭なら2017 障害者芸術・文化祭なら大会	441110	老朽化による雨漏りや空調設備不具合等を大規模改修することにより、榛原総合センター及び中央図書館の効率的な施設運営を図る。 平成28年度は基本設計を行い、平成29年度下半期に工事を執行する。	実行委員会への補助金交付。事業をサポート。	B	2.取組みを終了した	生涯学習課
	(2) 文化芸術活動体験交流施設「ふるさと元気村」運営事業		534010	文化芸術活動の体験を通じた地域間交流によって、地域の活性化を図るため、文化芸術活動体験交流施設を設置し、指定管理者に管理運営を委託する。	目標来訪者数に対して91.45%であったが、来場者数は前年から137人増加した。自然体験や地域間交流を継続的に実施した	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
	(3) 音楽の森ふれあい館運営事業		534020	音楽活動等を通じて世代間、地域間のふれあいを図り、高齢者等の健康増進と社会参加を促進し、高齢者等の生きがいづくりを目的にふれあい館を設置し、指定管理者に管理運営を委託する。	地域に根ざした事業等での活用が活発になった。様々な事業や貸館業務、月4～5回行う「昼下がりにコンサート」などの音楽活動を通じて交流が図られた	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
	(4) 地域文化伝習施設(あさぎりホール)運営事業		534030	地域の伝統芸能である、神楽及び龍穴太鼓の保存及び次世代への継承を行っている施設に対し、指定管理者に管理運営を委託する。	「地すべり見学館」の機械の故障により来訪者が減少している。修繕に関して引き続き奈良県と協議が必要	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
豊かな自然環境の保全・活用	5-1-1 クリーンエネルギーの普及推進	(1) 太陽光発電システム設置補助事業	111010	地球環境に配慮した持続的な発展のため、自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する者に対して補助金を交付する。	10件設置補助	C	2.取組みを終了した	環境対策課	-
		5-1-2 自然環境の保全・活用	(1) 多面的機能支払交付金事業	112010	-	共同・向上活動15活動組織、共同活動13活動組織に対し交付金を交付。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課
	(2) 中山間地域直接支払事業		112020	-	32集落協定に対し交付金を交付した。	A	1.今後も継続して取り組む	農林課	3-3-1(1)
	(3) 不燃物埋立放流水質検査事業		112040	不燃物埋立の水質汚濁を監視するため、放流水質検査事業を行う。	全項目1回(7か所)・通常項目10回(2カ所)	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-
	(4) ごみゼロ美化運動		112050	豊かな自然環境の保全を推進するため、6月の環境月間に市民による市内清掃美化運動。	可燃性ゴミ2,180kg、不燃ゴミ2,220kg回収	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-
	(5) 最終処分周辺環境整備事業水源調査		112060	室生多田にある、最終処分場周辺の環境整備の一環として、農業用水確保のため水源調査を行う。	調査完了	C	2.取組みを終了した	環境対策課	-
	(6) 地域環境保全推進事業		113010	廃棄物の不法投棄等の不適正処理について、早期に発見し、適切な処理を講じるため、地域環境保全推進員を設置。	県・市の推進員で合同パトロール実施	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-
	(7) 天然記念物保存事業(向洲スズラン群落再生事業)		531030	国の天然記念物で、平成20年に市の花にも制定された「スズラン」の群落地の保存事業。	獣害防止ネット設置・生育調査実施。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
	(8) 特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業		531080	棲息が確認されている、宇陀川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川を中心に保護調査(分布調査・生息生育調査)を実施する。	室生地内の河川にて生育調査。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
	5-1-3 環境を活かした持続的発展	(9) 国指定天然記念物カザグルマ自生地再生事業	531100	平成21年度の天然記念物カザグルマ自生地再生事業終了以降は、個体観察と管理作業を行ってきたが、指定地内の樹木が繁茂してきたため、カザグルマの植勢の衰退が確認され、今後の影響が懸念されるため、その植勢回復と適正な植生管理を行う。	カザグルマ個体群の生育調査。	A	1.今後も継続して取り組む	文化財課	-
(1) (仮称)宇陀市〇〇王国構想		142010	「王国」の中心となる(仮称)産業支援機構の設立に向けて調査研究を進める。 ※計画の見直し	取り組みはしていない	D	4.取組みを終了すべき	産業企画課	-	
生活環境の整備・充実	5-2-1 ごみの適正処理の推進	(1) 集団資源回収助成事業	131010	再利用可能な一般廃棄物の集団回収活動を自主的に行う団体に対し、資源回収助成金を交付することにより、一般廃棄物の減量と資源の再利用を図る	50団体 533,610kg回収	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複	
生活環境の整備・充実	5-2-1 ごみの適正処理の推進	(2) 生ごみ処理機等購入助成事業	131020	一般家庭の台所から出るごみを家庭用ごみ処理機及び処理容器を設置し、処理を行う者に対して補助金を交付し、ごみの減量と意識の高揚を図る。	3件助成	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(3) 可燃性ごみ収集運搬委託事業	132010	広域的な連携によるごみ処理施設の整備・充実に努めるとともに、収集体制の充実を図るため、可燃性ごみ収集運搬委託事業を行う。	6,993,980kg	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(4) 不燃焼物収集処理委託事業	132020	安定したリサイクル処理を行うため、金属類、ペットボトル、ビン・ガラス類、布類、粗大ごみなど不燃焼物収集処理の委託事業を行う。	1,368,230kg	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(5) リサイクルの推進	-	ごみの堆肥化等によるリサイクル推進	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	環境対策課	-	
	5-2-2 生活衛生環境の向上	(1) 合併処理浄化槽整備事業	121010	し尿と雑排水を併せて処理することにより、公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上等を図るため、合併処理浄化槽整備の補助を行う。	22基	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(2) し尿処理委託事業	121020	廃棄物処理法に規定されるし尿等を処理し、公共用水域へ放流するための委託業務事業。	2,492,980ℓのし尿を収集	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(3) 宇陀衛生一部事務組合負担金事業	121030	地方自治法に規定される特別地方公共団体で、し尿処理のために宇陀市、宇陀郡、東吉野村で構成された一部事務組合への負担金。	負担金81,291千円	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(4) 狂犬病予防注射委託事業	123010	動物との共生を維持するため、狂犬病予防法に基づく適正管理のため、予防注射委託業務を行う。	1,089頭	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(5) 野良猫の避妊手術補助	-	行政と地域間での情報発信・共有に向けた課題などに対して、本市のあるべき姿を明確にし、地域社会と行政が一体となってICT等を効率的に活用することについて検討し基本的な方針を定めることにより、地域活性化や市民生活の質の向上を図るため、「地域情報化計画」を策定する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	環境対策課	-	
	5-2-3 火葬場・墓地の整備	(1) 斎場・火葬業務委託事業	122010	宇陀市宮榛原斎場及び宇陀市宮不帰堂火葬場の委託業務。	208体(大宇陀)226体(榛原)	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
		(2) 市霊苑事業(特別会計)	122020	適切な管理運営と環境に配慮し、使用者が安心して利用できるように霊苑の運営を行う。	利用申請 2件	A	1.今後も継続して取り組む	環境対策課	-	
	公園・緑地の整備・活用	5-3-1 公園・緑地の維持・管理	(1) ワールドメープルパーク指定管理	151010	カエデの生産管理の専門技術者がいるNPO法人に指定管理し、自然体験や観光施設など幅広く関連させ、地域の活性化を図る。	カエデ育成・管理の専門者がいるNPO法人に指定管理したことでカエデの観察会や育苗などの体験学習が促進され地域の活性化につながっている。	A	1.今後も継続して取り組む	商工観光課	-
			(2) 各公園管理運営事業	151030	市民の体験や憩いの場、市外からの来訪・交流の場として、快適な公園緑地空間の維持管理を行う。	定期的な管理により維持できている。	A	1.今後も継続して取り組む	公園課	-
(3) 室生山上公園芸術の森管理運営事業			151050	世界的な彫刻家・ダニカラヴァンが設計した地すべり対策事業の公共事業とアートを融合した芸術公園の管理業務。	目標入場者数に対して66.66%であったが、昨年より7.7%増加した。広くPRに努めた結果があらわれた	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-	
(4) アニマルパークと連携した事業			151060	来訪・交流の場として、アニマルパークを利用した、いのちの教育プログラムや農産物の収穫体験、観光振興を推進していく。	いのちの教育プログラム 小学校全校参加(教育総務課)	A	1.今後も継続して取り組む	教育総務課・商工観光課・農林課	-	
(5) 公園施設長寿命化計画策定事業			151090	公園施設の老朽化が進む中で、今後、利用者が安心して快適な利用が出来るよう長寿命化計画を策定し適切な維持補修及び更新を行うことにより、安心安全な公園施設の維持管理に努める。	公園長寿命化計画策定の調査完了。	A	1.今後も継続して取り組む	公園課	-	
(6) 公園施設長寿命化対策支援事業			-	健全度調査で改善が必要と判断された施設の改築	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	公園課	-	

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
公園・緑地の整備・活用	5-3-2 新たな公園・緑地空間の整備	(1) 都市公園健康器具設置事業	151020	ウエルネスシティ推進事業の一環として、都市公園に健康器具を設置し、市民が散歩の途中や施設利用時に気軽に筋力アップや休息が図れるように整備する。	当該年度までに9公園に健康遊具を設置。	A	1.今後も継続して取り組む	公園課	-
		(2) 東榛原市民農園整備事業	151040	住民ニーズのある、家族がともに土とふれあうレクリエーションの場とした農園を設置する。	農園工事の着手、災害復旧測量設計調査。	A	1.今後も継続して取り組む	公園課	-
		(3) 防災公園整備事業調査設計	151070	有休市有地の有効活用をはかるべく、災害時の避難場所等に活用できる広場整備や市民の憩いの場としての活用、景観保全等の周辺整備を行うための測量設計業務を行う。 ※平成28年度調査設計	初期の目的を達成した。	B	1.今後も継続して取り組む	宿泊施設用地・公園整備課	-
		(4) 平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト	151080	「子供のもり活性化協会」を中心に事業を企画を運営し、市内外からの来場者を増やすことを目指す。 また、ゆうゆう祭り・カヌー教室・石窯教室等の事業に加え活性化協会会員による独自の催しも開催する。	このプロジェクトについて、プロジェクトチームの立ち上げを検討していたが、同内容で「子供のもり公園活性化協会」が設立された	C	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	企画課	-
市民と行政の協働のまちづくり	6-1-1 積極的な情報発信	(1) 広報うだの発行	611020	市政・住民情報などを、広く市民に提供し、情報の共有化を推進するため、毎月1回「広報うだ」を発行する。	月1回発行。市政や教育、まちづくりに関する特集を毎月掲載。2年連続奈良県代表広報紙として全国広報コンクールに出展。	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(2) 宇陀市ホームページ運用事業	611030	各施策・各事業などの説明責任を果たすため、各部署において掲載内容の更新頻度を高め、市民との情報共有化を推進する。	トップページほか、サイトの部分リニューアルと実施。 障がい者差別解消法施行に伴うウェブアクセシビリティの向上に努めた。	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(3) 宇陀市PR番組放送委託事業	611050	宇陀市の住み良さや豊かさ、観光情報を自主放送で製作し、奈良テレビ放送番組で放映する。	毎月1回宇陀市PR番組を制作し、奈良テレビ放送番組内で放映した	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(4) 「うだちゃん」生放送の推進	-	「うだちゃん」を改革するため取り組みとして、番組内容の充実を図るため、各地の行事やイベント、桜中継等の生放送を行うもの	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	秘書広報情報課	-
		(5) 各種委員会の自主放送事業	-	常任委員会及び特別委員会をうだchで放送を行う。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	議会事務局総務課	-
		(6) 市民との意見交換会	-	まちの隅々から行政へ声の届くまちをめざし、定期に意見交換会を開催する。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	秘書広報情報課	-
	6-1-2 市民の協働と参画の推進	(1) タウンミーティングの開催	611040	市民参加型行政を目指し、市民と市長などが直接意見交換を行い、市民の声を市政に反映させていくことを目的として、地域ごとに対話型集会を開催する。	市政報告会としてまち協単位で実施(16か所・447人参加)	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(2) まちづくり協議会の設立促進	612010	地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を目指す。また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で「いきいきした地域づくり」ができるように応援する。	設立団体数計22まち協	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	6-4-1(2)
		(3) 市政モニター事業	612030	広聴業務は行政に対して市民が直接意見や要望を伝えることが出来ることから、市民参画の推進をはかるためには今後益々必要になると考える。そのため、公募でモニターを募集し、アンケート調査を行い、今後の市政運営に役立てる。	市政モニターアンケートを4回実施 パブリックコメント手続きのルールを明確化した	A	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	秘書広報情報課	-
		(4) ふるさと納税を活用した住民のまちづくり	-	愛護的に保護された野良猫の避妊手術の補助を目指す。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	まちづくり支援課	-
		(5) 社会教育推進講座の開催	-	まちづくり協議会対し講師等を派遣し、講座や研修会開催し、共に地域課題に取り組む	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	中央公民館	-
健全な行政運営の推進	6-2-1 行政サービスの向上	(1) 総合窓口の設置	621010	市民窓口サービスの維持・向上等を図り、各種証明書や住民異動にかかる手続きを1カ所で行える総合窓口(ワンストップサービス)の検討をおこなう。	来庁者に案内を行う	A	1.今後も継続して取り組む	関係課	-
		(2) 情報系システム更新事業	621030	市内各施設及び職員間を高速ネットワークで接続し事務の効率化を図るとともにインターネット接続環境を提供する。	LG系とインターネット系を分離後の円滑な事務の実施を行った	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
健全な行政運営の推進	6-2-1 行政サービスの向上	(3) 基幹系システム更新事業	621040	住民記録システムや税の基幹系システムを更新することにより迅速で正確な住民サービスに対応する。	システムの更新を完了し、適切な運営を行った	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(4) 情報セキュリティ強化対策事業	621050	-	国が示すシステムを構築するための準備作業を行った	A	1.今後も継続して取り組む	秘書広報情報課	-
		(5) マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業	621070	コンビニのキオスク端末を利用することで休日時間外を問わず、全国どの店舗からも証明書を取得できることから、自宅や職場等の最寄りの店舗でいつでもサービスを受けられ、又、市民の方は市役所まで出向く必要がなく、待ち時間の短縮により行政サービスの向上に繋げる。	H29年度マイナンバーカード交付件数:691件	A	1.今後も継続して取り組む	市民課	-
		(6) 各種職員研修	641010	職員の政策形成能力や創造的能力の強化、接遇や専門知識、技術、メンタルヘルス等の研修のため、専門の研修所に職員を派遣、また、全体研修に専門講師の派遣を依頼する。	全体研修では、タイムマネジメント研修、人権研修を実施し、また、外部の研修機関へは「法務能力向上、自治体監査の実務、地域支援・協働」等の研修に職員を延べ59名派遣した。	A	1.今後も継続して取り組む	人事課	-
	6-2-2 効率的な業務運営体制の構築	(1) 人事考課制度	641020	人事考課(評価)により能力、実績主義を人事管理の基礎として自らの強み弱みを把握して自発的な能力開発等を行うなど人材育成に資する。2年に1回職員の考課の統一を図るため研修を行い、考課の精度を高める。	管理職員(行政職82名 幼保職15名)が実施している業績考課の結果を、平成28年度6月期・12月期の勤勉手当に反映させた。	A	1.今後も継続して取り組む	人事課	-
		(2) 職員提案制度	641030	職員に市行政施策及び事務事業に関する改善意見の提案を奨励し、行政運営に対する参加意識の高揚、市民サービスの向上、市行政の効率的運営を図る	未実施	C	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	企画課	-
	6-2-3 健全な財政運営	(1) 行政評価制度	642010	行政活動を一定の基準、視点に基づき評価し、その結果を改善に結びつける制度。	新たな行政評価制度を検討中	D	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	総務課	-
		(2) 指定管理者制度導入事業	642020	公の施設の管理を一定期間その団体に行わせる制度。	引き続き実施 3件	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(3) 公債費償還(元金・利子)	642030	宇陀市が過去に発行した地方債、または前年度発行見込額に対する償還額の適正な管理を行う。平成29年度 元金2546.1百万円 利子274.6百万円	予算計画どおり、適正に償還を実施している。	A	1.今後も継続して取り組む	財政課	-
	広域行政の推進	6-3-1 広域行政の推進	(1) 姉妹都市提携事業	651010	都市間の文化、産業などの交流を図り、相互の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に姉妹都市提携を推進する。	交渉は中断していたが、協定に向けて交流を再開した	B	5.取組内容や目標値等に見直しが必要	企画課
(2) 桜井宇陀広域連合事業			651020	桜井市・宇陀市・宇陀郡で組織する広域連合で、ふるさと市町村圏計画の事業、介護保険法及び障害者自立支援法の認定審査等を行う。	計画通り実施	A	1.今後も継続して取り組む	企画課・介護福祉課	-
(3) 各種広域行政負担金事業			651040	一部事務組合(桜井宇陀広域連合、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合、東宇陀環境衛生組合、宇陀衛生一部事務組合、奈良広域水質検査センター、奈良県広域消防組合、奈良県後期高齢者医療広域連合)への負担金。	計画通り実施	A	1.今後も継続して取り組む	担当課	-
(4) 大和高原(東吉野)観光振興協議会負担金			651070	奈良県東部振興計画に基づき、観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークの形成のため、「大和高原観光振興協議会」が設置され、観光客の来訪増加と地域の活性化を図る。	重複	-	-	商工観光課	3-5-3(1)
(5) 姉妹都市提携			-	ふるさと納税を活用して、NPOや市民活動団体など住民のまちづくり活動の支援を行う。	【平成30年度新規事業】	-	6.平成30年度より着手予定	企画課	-
地域力の再生・強化	6-4-1 地域力の向上・強化	(1) 地域・NPO支援講座	631010	-	市内21のNPO団体が登録	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	-
		(2) まちづくり協議会の設立促進	631020	地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を目指す。また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で「いきいきした地域づくり」ができるように応援する。	612010を参照	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	6-1-2(2)
		(3) 市連合自治会支援事業	631030	自治会活動の活性化を支援し、自治会への加入率の向上を目指すため、自治会に対しての補助事業。	地域社会の基盤である自治会活動の支援を行っている。	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-

<進捗管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み

施策の方向性	施策名	事業名	第1次事業コード	事業内容	平成29年度の進捗状況・取組内容等	進捗管理基準	今後の方向性	担当課	重複
地域力の再生・強化	6-4-1 地域力の向上・強化	(4) 自治会掲示板設置事業補助金	631040	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して補助金を交付する。	要望に基づき実施	A	1.今後も継続して取り組む	総務課	-
		(5) まちづくり活動応援補助金	632010	市内で活動する団体が行う新たな取組みに対し、補助金を交付することにより、市民による主体的及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進する。	補助団体数(新規3団体、継続3団体)	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり支援課	-
	6-4-2 市民活動の支援	(1) 自治会集会所・公民館改修整備事業	441020	地域における公民館活動を更に充実したものとするための、各種公民館改修整備事業。	要望に基づき実施(総務課)	A	1.今後も継続して取り組む	総務課・各 地域事務所	6-4-2(2)
		(2) 自治会集会所・公民館改修整備事業	441020	地域における公民館活動を更に充実したものとするための、各種公民館改修整備事業。	平成29年度については、事業要望が無かった。(菟田野地域事務所)	D	1.今後も継続して取り組む	総務課・各 地域事務所	6-4-2(1)
		(3) 国際交流推進補助事業	632020	外国との交流活動を通じて互いの文化の理解に努め、友好親善を図ることを目的とする活動団体への補助事業。	国際交流を進める会、室生国際交流村実行委員会ともにホームステイ受入	A	1.今後も継続して取り組む	企画課	-
		(4) ふるさと夏まつり・まちなみライトアップ補助事業	632030	「阿騎野ふるさと夏まつり」、「まちなみライトアップ」への補助事業。	生憎の雨に見舞われたが、何とか例年通りで遂行できた。	A	1.今後も継続して取り組む	大宇陀地 域事務所	-
		(5) 地域活性化推進事業	632040	古市場地区の夏まつりやふれあい演芸及びうたの夢街道等への補助事業。	各事業適正に執行され、多数の参加があった。	A	1.今後も継続して取り組む	菟田野地 域事務所	-
		(6) 室生ふるさとまつり補助事業	632050	「室生へまあより祭」及び地域づくりへの補助事業。	H29年度の祭りへの参加者実績は約3,800人で、地域内外から参加した多くの住民との交流をはかることができた。	A	1.今後も継続して取り組む	室生地域 事務所	-
(7) 一般コミュニティ助成事業	632060	財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、地域の発展を図る。	1まち協、1自治会の2件採択	A	1.今後も継続して取り組む	まちづくり 支援課	-		

<進行管理基準>A:計画通り実施(次年度以降も継続予定)、B:所期の目的を達成(事業完了)、C:事業の見直し(中止又は休止)、D:その他(保留など)、グレー:未設定
※灰色網掛けは取組みを終了した事業、赤字は新しい取組み